

オンラインマニュアルについて

オンラインマニュアルでは、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。また、特にことわりがない限りホーム画面からの操作を中心に説明しています。操作説明は省略している場合があります。

- ↓ 本製品をお使いになる前に
- ↓ データ通信について
- ↓ ディスプレイ表示、キー表示について
- ↓ その他の表記について

本製品をお使いになる前に

「クイックスタート」、「お願いとご注意」をご覧ください。
ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

データ通信について

- 本製品は、常時インターネットに接続される仕様のため、データの同期など一部自動的に通信を行う場合があります。
- アプリのダウンロードや動画の視聴など、データ量の大きい通信を行うと、データ通信料が高額になりますので、データ通信定額サービスのご加入を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもデータ通信料が発生する場合があります。

ディスプレイ表示、キー表示について

オンラインマニュアルで記載しているディスプレイ表示は、実際の表示と異なる場合があります。オンラインマニュアルで記載しているキー表示は、説明用に簡略化しているため実際の表示とは異なります。

その他の表記について

オンラインマニュアルでは、本製品のことを「本機」と表記しています。

microSD™ / microSDHC™ / microSDXC™カードは「SDカード」と表記しています。

各部の名称とはたらき

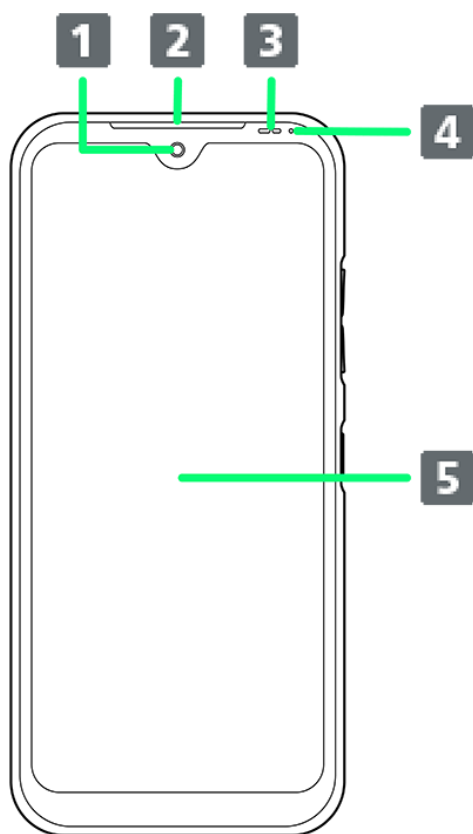
↓ 本体正面について

↓ 本体背面／側面について

↓ キーについて

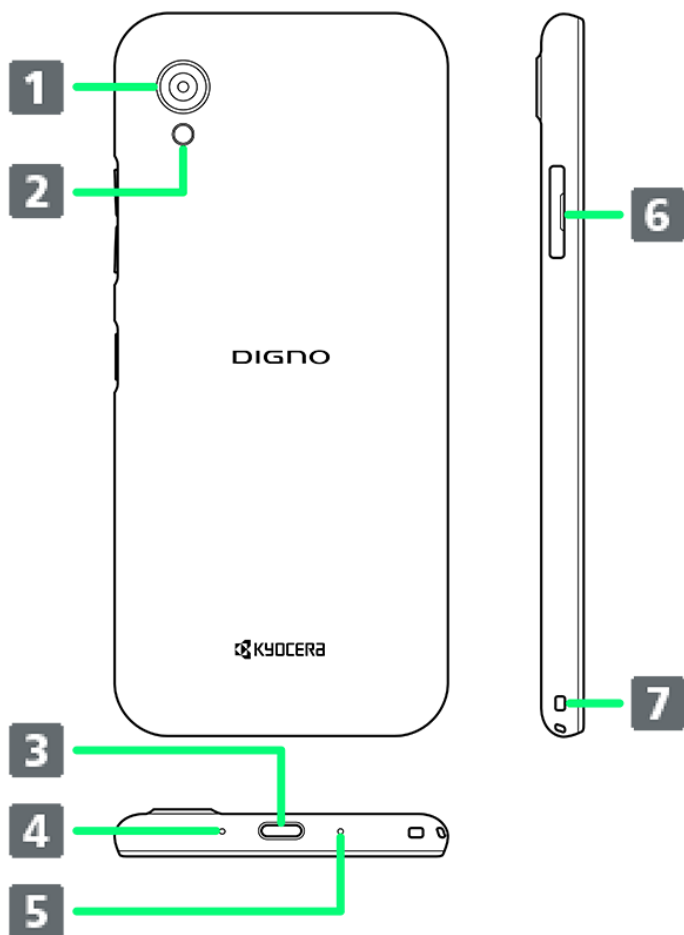
↓ 通知／充電ランプについて

本体正面について



名称	説明
1 フロントカメラ	写真や動画の自分撮りなどに使用します。
2 受話口／スピーカー	相手の声や音楽、動画などの音声が聞こえます。
3 明るさ／近接センサー	周囲の明るさを検知したり、通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーです。
4 通知／充電ランプ	充電中や電源を入れたときなど、本機の状態を知らせるときに点灯／点滅します。
5 ディスプレイ	本機のディスプレイはタッチパネルです。指で直接触れて操作することができます。

本体背面／側面について

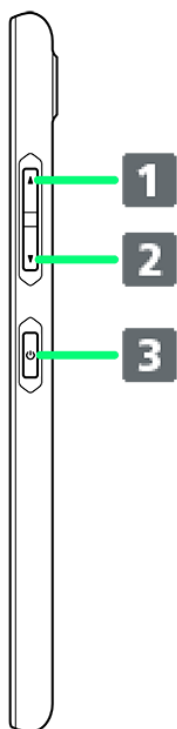


名称	説明
1 カメラ	写真や動画を撮ります。
2 モバイルライト	撮影時などにライトを点灯します。
3 外部接続端子	ACアダプタやUSB Type-C™ケーブル(別売)を接続します。
4 送話口	自分の声を相手に伝えます。
5 気圧調整穴	性能を保つための穴です。シールなどを貼り付けないでください。
6 カードスロットキャップ	USIMカード、SDカードを挿入します。
7 ストラップホール	ストラップを取り付けるための穴です。

注意

防水性能(IPX8)維持のため本機に気密性があり、本機を強く押した際に受話口／スピーカ周辺から音が出るがありますが、機能および性能には異常はありません。

キーについて



名称	説明
1 音量大キー	音量を上げます。
2 音量小キー	音量を下げます。
3 電源キー	ディスプレイを消灯／点灯します。 長押しで、緊急通報／電源OFF／再起動／スクリーンショットのメニューを表示します。電源OFF時には電源を入れます。

通知／充電ランプについて

充電中や電話／メールの着信時に点灯／点滅してお知らせします。

ランプの色と表示状態	通知内容
赤の点灯	充電中
緑の点灯	充電完了(電池残量100%)
赤の点滅	電池残量14%以下
緑の点滅 ¹	不在着信あり／新着メールあり／新着+メッセージあり

1 画面消灯中に点滅します。

eSIMについて

eSIMは、端末内にあらかじめ埋め込まれた本体一体型のSIMです。eSIM対応端末であればUSIMカードのように本体にSIMカードを差し替えることなく、ご契約と設定のみで回線をご利用いただくことができます。

↓ eSIMをダウンロードする

↓ eSIMを有効／無効にする

↓ eSIMを消去する

eSIMのお取り扱い

eSIMのお取り扱いについては、下記のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.softbank.jp/mobile/support/product/sim/esim/>

eSIMをダウンロードする

1

ホーム画面で  (設定)  ネットワークとインターネット



2

+



- USIMカードを取り付けていない場合は、モバイル ネットワークをタップしてください。

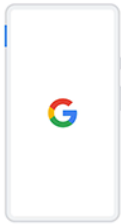
3

代わりにSIMをダウンロードしますか？



モバイル ネットワークへの接続

新しいSIMカードを使用するには、デバイスで現在使用しているSIMを取り出す必要があります



代わりにSIMをダウンロードしますか？
eSIMを使用して番号を追加

キャンセル

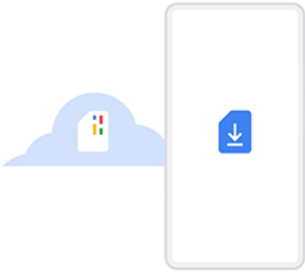
4

次へ



SIM のダウンロード

通常は SIM カードに保存されている情報をダウンロードすることでモバイル ネットワークに接続します。標準の SIM カードに代わる手段です。安全性に変わりはありません。



オープンソース ライセンス、プライバシー ポリシー、利用規約

次へ

5

QRコードをスキャン



ネットワークの QR コードをスキャン

ネットワーク プロバイダから QR コードが提供されている場合は、コードをボックスの中央に合わせてスキャンしてください



[ヘルプ](#)

6

有効化

Sample

(縦画面)

7


確認コードを入力 ➡ 続行

Sample

(縦画面)

完了



 eSIMのダウンロードが完了します。

eSIMを有効／無効にする

ホーム画面で  (設定)  ネットワークとインターネット



2


モバイル ネットワーク



3

OFF (表示)



 eSIMの有効／無効が切り替わります。

eSIMを消去する

1

ホーム画面で  (設定)  ネットワークとインターネット



2

モバイル ネットワーク



3

詳細設定 → SIMを消去

Sample

(縦画面)

4

消去

Sample

(縦画面)

 eSIMが消去されます。

 **eSIMを消去した場合**

eSIMを消去した後に再度eSIMを利用する場合は、eSIMダウンロード用のQRコードの再発行が必要になります。

eSIMを消去した場合でも、ご契約が解除されたわけではありません。

USIMカードについて

USIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記憶されたICカードです。

↓ USIMカードを取り付ける

↓ USIMカードを取り外す

USIMカードのお取り扱い

USIMカードのお取り扱いにあたり下記事項をご確認ください。



① IC部分

USIMカードのお取り扱いについては、下記のソフトバンクのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.softbank.jp/mobile/support/protect/usim/>

- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けしないでください。故障の原因となります。

USIMカードご利用時の注意事項

USIMカード利用時は、次の点にご注意ください。

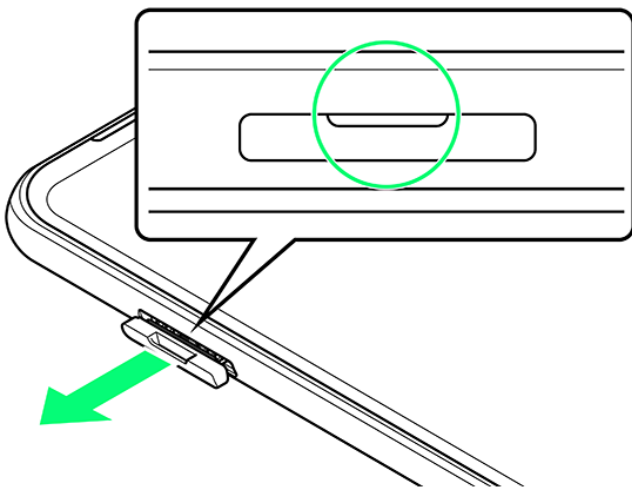
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約などの際は、当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、控えをとっておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIMカードや携帯電話（USIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。
- USIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 他社のUSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

USIMカードを取り付ける

必ず電源を切った状態で行ってください。

1

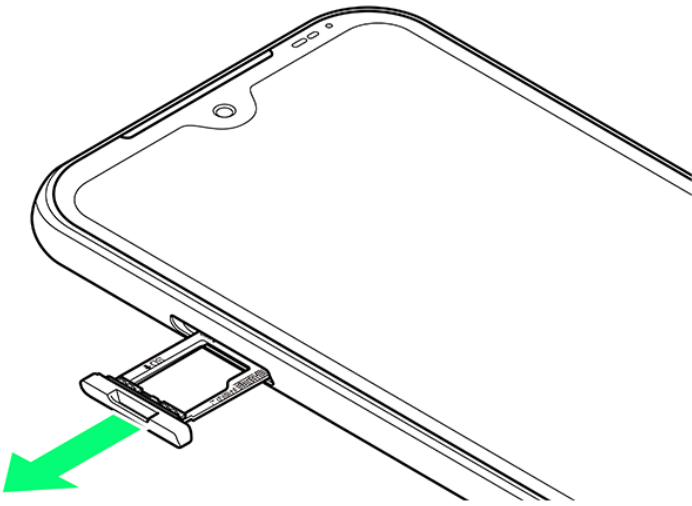
カードスロットキャップを引き出す



- ミゾに爪をかけて引き出してください。

2

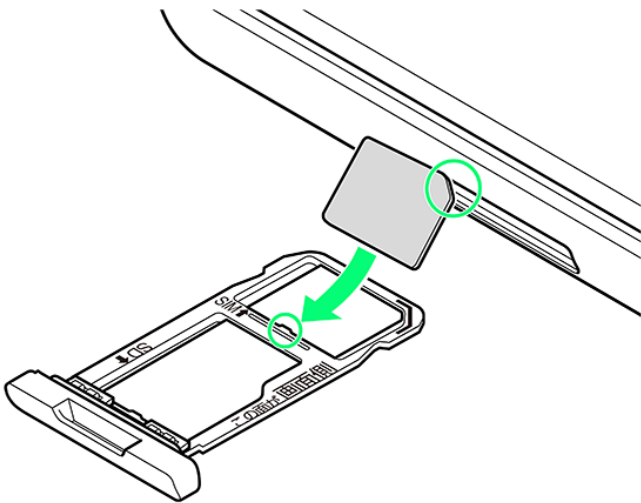
本機からSD／USIMカードトレイを取り外す



- 矢印の方向に、ゆっくりと水平に引き出してください。

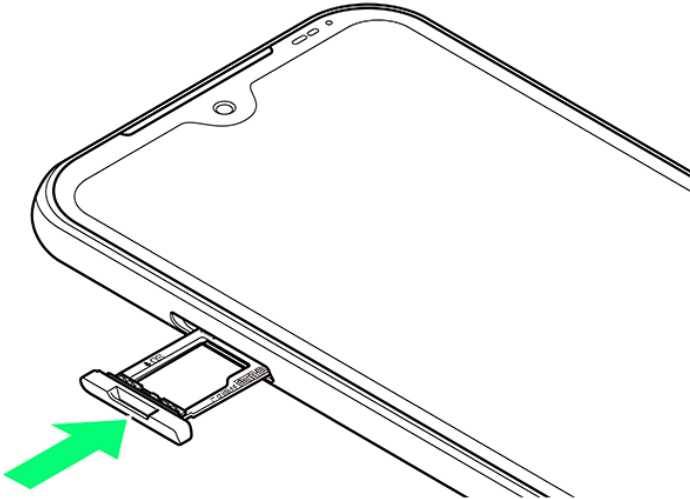
3

USIMカードをSD／USIMカードトレイに取り付ける



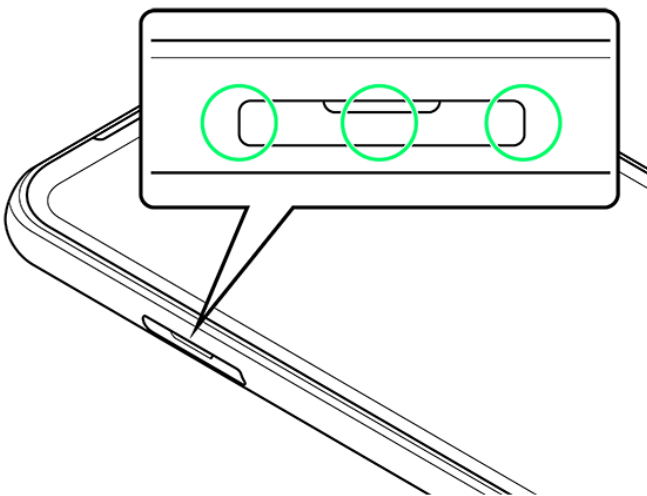
- USIMカードの向きに注意してください。切り欠きの位置に注意して、IC(金属)部分が下になるように取り付けてください。誤った向きで取り付けた場合、USIMカードが落下したり、本機の破損・故障の原因となることがあります。
- USIMカードがSD／USIMカードトレイから浮かないように、しっかりと取り付けてください。
- SD／USIMカードトレイのツメ部分が破損しないように、USIMカードを矢印の方向に滑り込ませて取り付けてください。


本体にSD／USIMカードトレイを差し込む



- 矢印の方向に、ゆっくりと水平に差し込んでください。
- SD／USIMカードトレイの向きに注意してください。誤った向きで差し込んだ場合、USIMカード、SDカードが落下したり、本機の破損・故障の原因となることがあります。

カードスロットキャップを取り付ける



 USIMカードの取り付けが完了します。

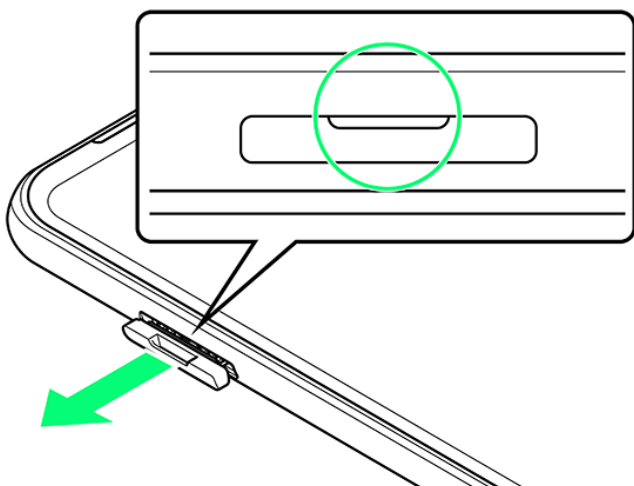
- Oの位置をしっかりと押し、カードスロットキャップが本体から飛び出していないことを確認してください。

USIMカードを取り外す

必ず電源を切った状態で行ってください。

1

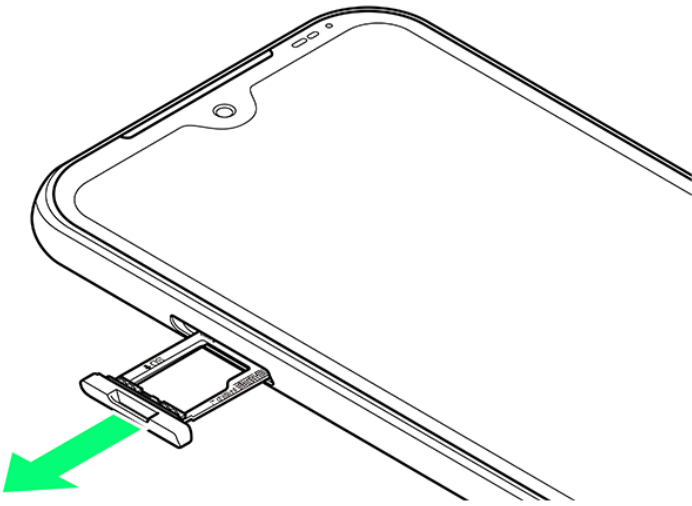
カードスロットキャップを引き出す



- ミゾに爪をかけて引き出してください。

2

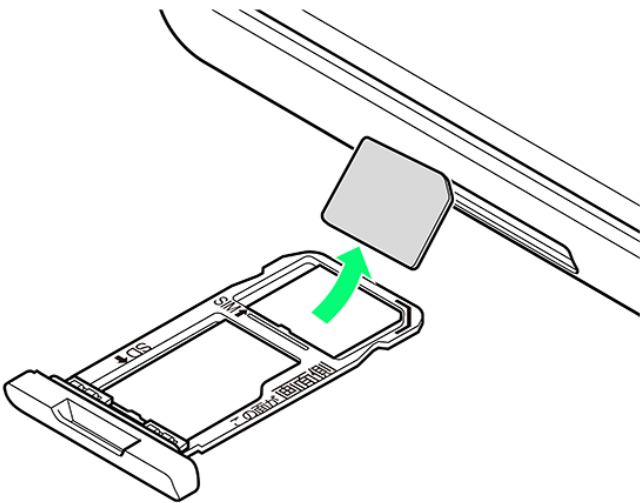
本機からSD／USIMカードトレイを取り外す



- 矢印の方向に、ゆっくりと水平に引き出してください。

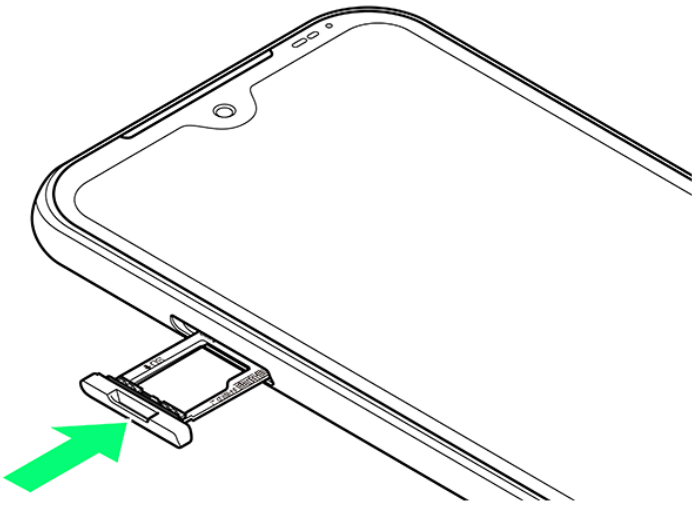
3

USIMカードをSD／USIMカードトレイから取り外す



4

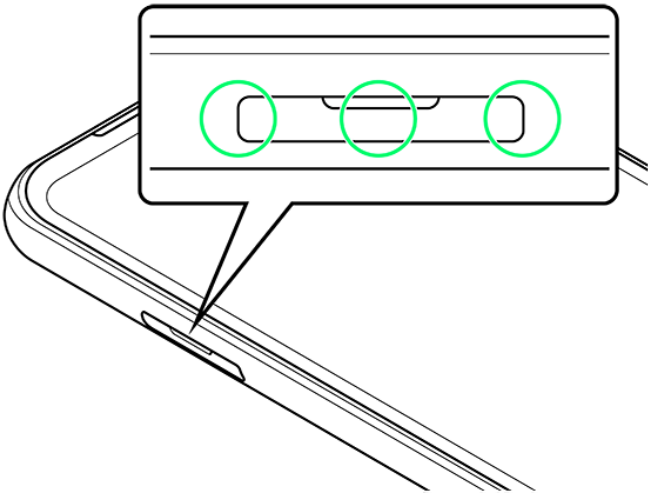
本体にSD／USIMカードトレイを差し込む




- 矢印の方向に、ゆっくりと水平に差し込んでください。
- SD/USIMカードトレイの向きに注意してください。誤った向きで差し込んだ場合、本機の破損・故障の原因となることがあります。

5

カードスロットキャップを取り付ける



 USIMカードの取り外しが完了します。

- ○の位置をしっかりと押し、カードスロットキャップが本体から飛び出していないことを確認してください。

SDカードについて

本機は最大1TBまでのSDカードに対応しています。ただし、すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。

市販のSDカードをはじめてお使いになるときは、必ず本機でフォーマットしてください。

- ↓ SDカードを取り付ける
- ↓ SDカードをフォーマットする
- ↓ SDカードのマウントを解除する
- ↓ SDカードを取り外す

! SDカード利用時のご注意

データについて

SDカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データの読み出し中／書き込み中について

データの読み出し中や書き込み中は、絶対に本機の電源を切らないでください。

電池残量について

電池残量が少ないとデータの読み出しや書き込みができない場合があります。

🚫 SDカードの取り扱いについて

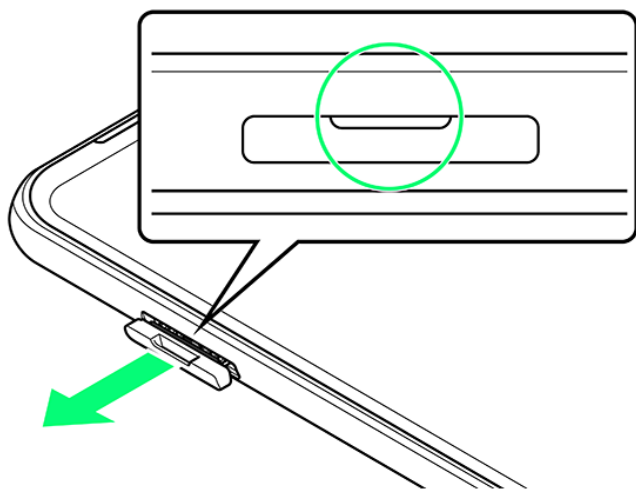
SDカードは、小さなお子様の手が届かない所で保管／使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。

SDカードを取り付ける

必ず電源を切った状態で行ってください。

1

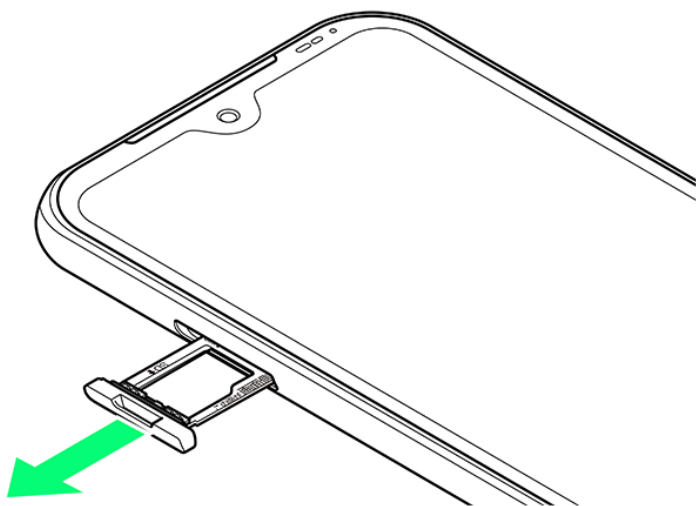
カードスロットキャップを引き出す



- ミゾに爪をかけて引き出してください。

2

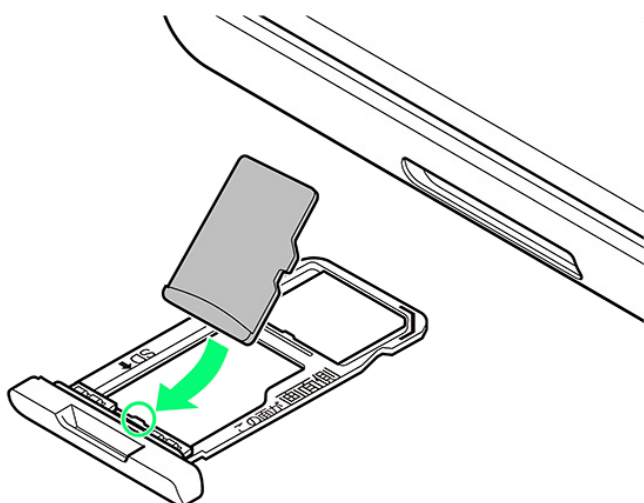
本機からSD／USIMカードトレイを取り外す



- 矢印の方向に、ゆっくりと水平に引き出してください。

3

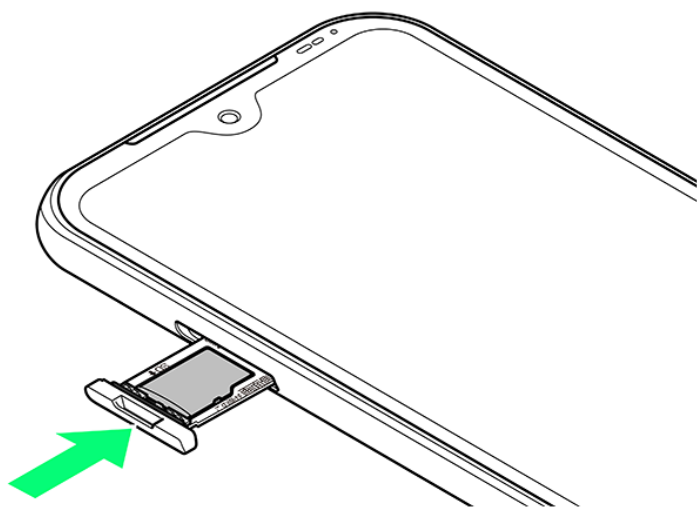
SDカードをSD／USIMカードトレイに取り付ける



- SDカードの向きに注意して、端子面が下になるように取り付けてください。誤った向きで取り付けた場合、SDカードが落下したり、本機の破損・故障の原因となることがあります。
- SDカードがSD／USIMカードトレイから浮かないように、しっかりと取り付けてください。
- SD／USIMカードトレイのツメ部分が破損しないように、SDカードを矢印の方向に滑り込ませて取り付けてください。

4

本体にSD／USIMカードトレイを差し込む

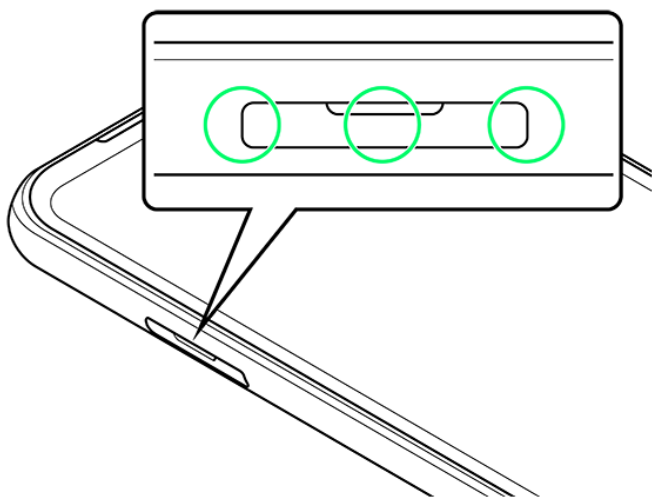



- 矢印の方向に、ゆっくりと水平に差し込んでください。
- SD／USIMカードトレイの向きに注意してください。誤った向きで差し込んだ場合、USIMカード、SDカー

ドが落下したり、本機の破損・故障の原因となることがあります。

5

カードスロットキャップを取り付ける



 SDカードの取り付けが完了します。

- Oの位置をしっかりと押し、カードスロットキャップが本体から飛び出していないことを確認してください。

SDカードをフォーマットする

1

ホーム画面で (設定)



2

ストレージ



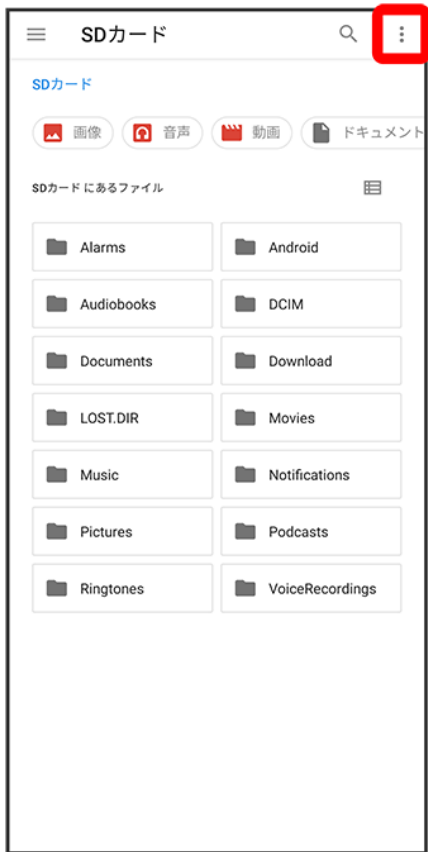
3

SDカード



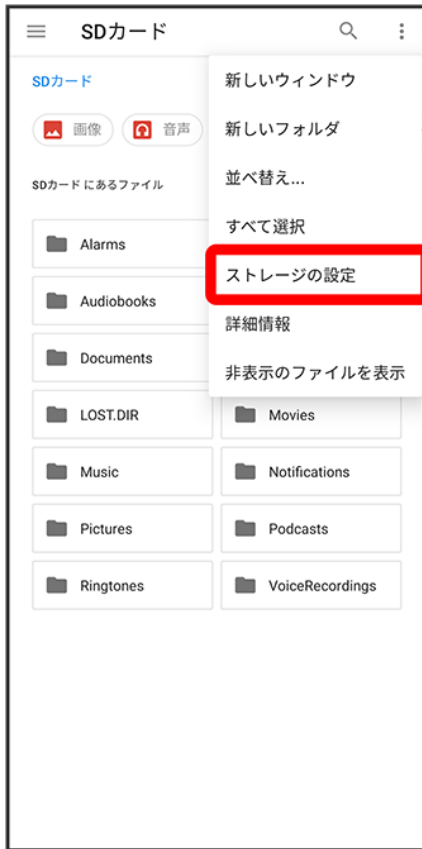
4





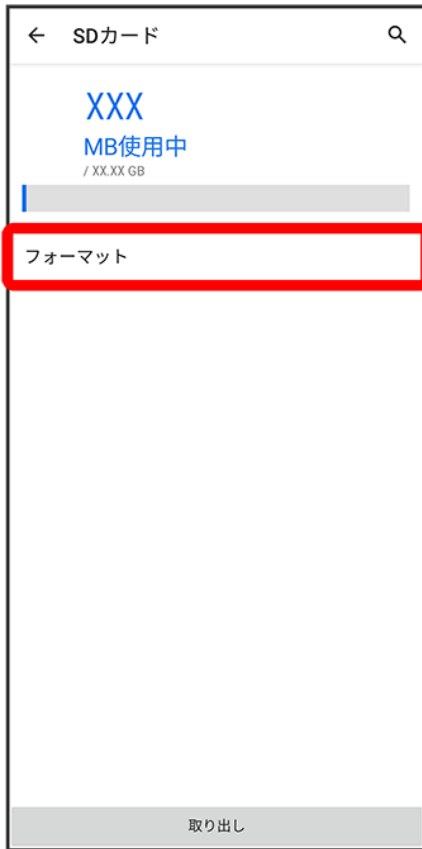
5

ストレージの設定



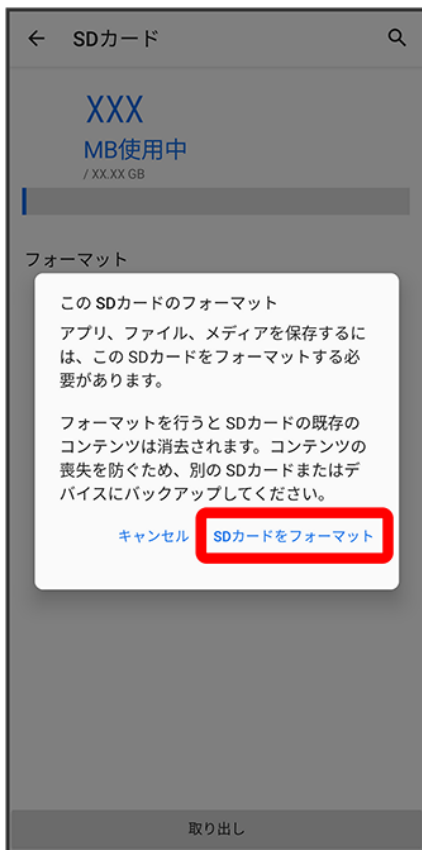
6

フォーマット




7

SDカードをフォーマット



8

完了

 SDカード内のデータがすべて消去されます。

SDカードフォーマット時のご注意

SDカードフォーマット時は、次の点にご注意ください。

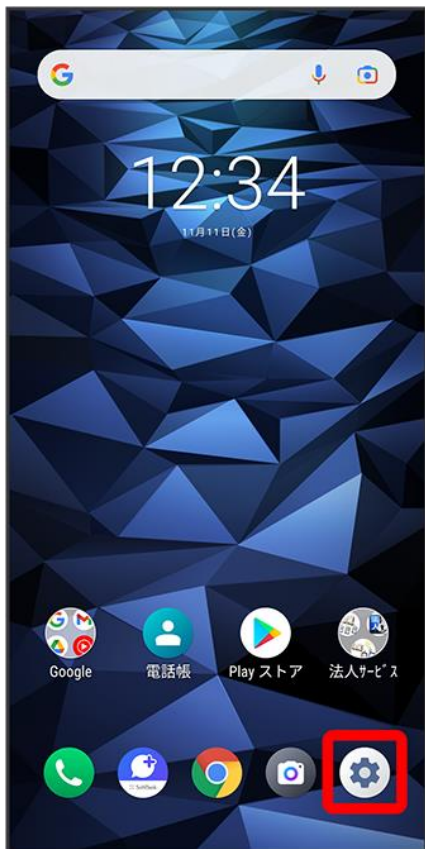
- フォーマットすると、SDカード内のデータがすべて消去されます。ほかの機器で使用したSDカードをフォーマットするときは、あらかじめよくご確認のうえ、操作してください。
- フォーマットは、充電しながら行うか、十分に充電された状態で行ってください。

SDカードのマウントを解除する

SDカードを取り外すときは、必ずマウントを解除してください。

1

ホーム画面で⚙️(設定)



2

ストレージ



3

「SDカード」の ▲



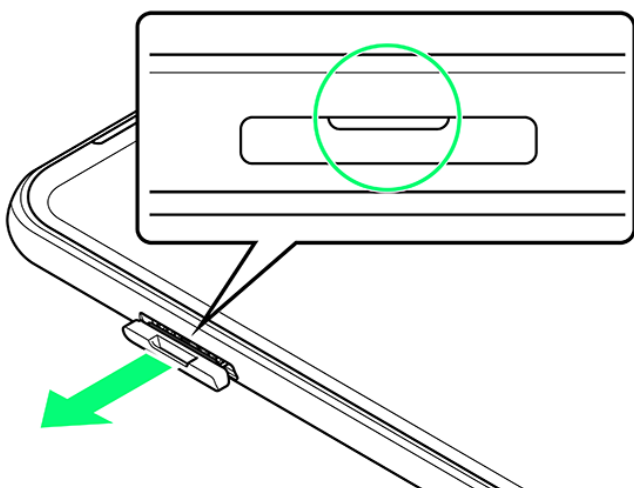
「SDカードを安全に取り出しました」と表示され、SDカードのマウントが解除されます。

SDカードを取り外す

必ずSDカードのマウントを解除したあと、電源を切った状態で行ってください。詳しくは、「[SDカードのマウントを解除する](#)」を参照してください。

1

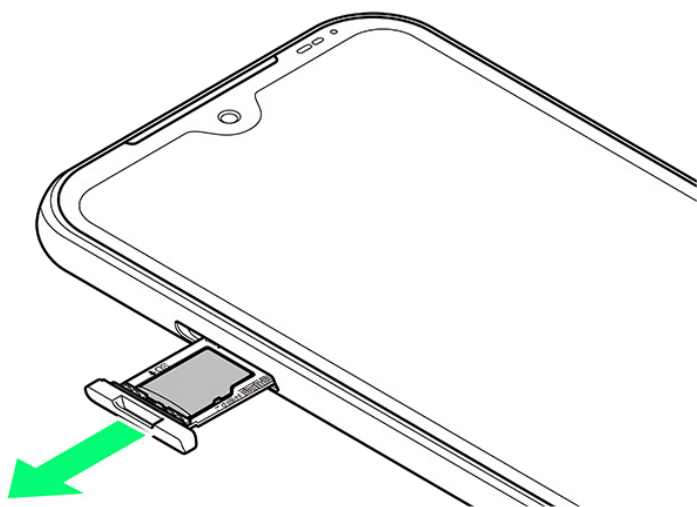
カードスロットキャップを引き出す



- ミゾに爪をかけて引き出してください。

2

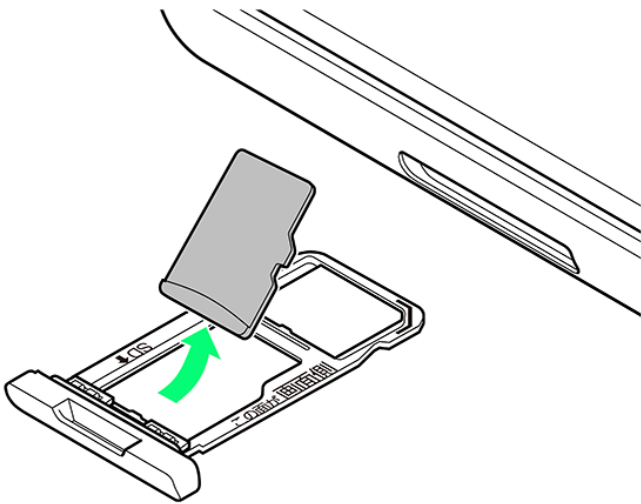
本機からSD／USIMカードトレイを取り外す



- 矢印の方向に、ゆっくりと水平に引き出してください。

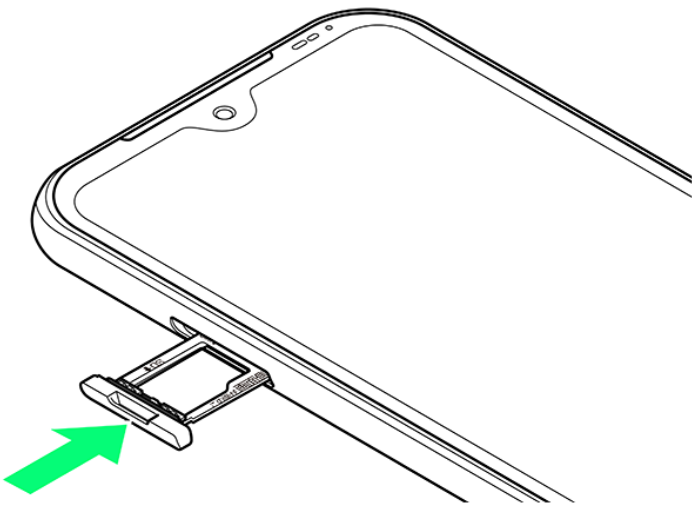
3

SDカードをSD／USIMカードトレイから取り外す



4

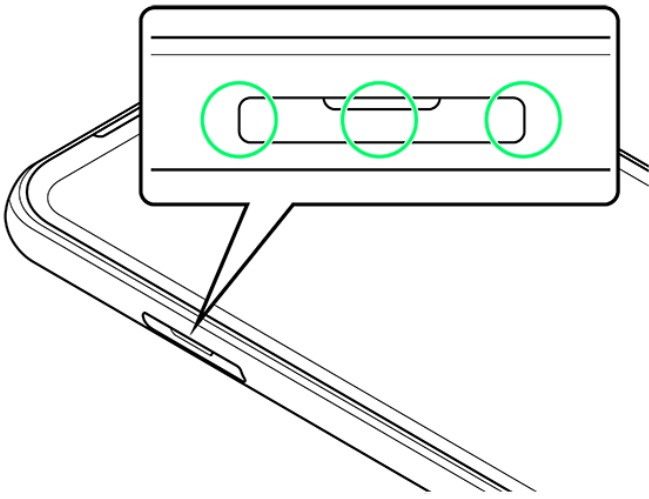
本体にSD/USIMカードトレイを差し込む



- 矢印の方向に、ゆっくりと水平に差し込んでください。
- SD/USIMカードトレイの向きに注意してください。誤った向きで差し込んだ場合、本機の破損・故障の原因となることがあります。

5

カードスロットキャップを取り付ける



🚩 SDカードの取り外しが完了します。

- Oの位置をしっかりと押し、カードスロットキャップが本体から飛び出していないことを確認してください。

充電する

- ↓ ACアダプタで充電する
- ↓ 卓上ホルダー(オプション品)で充電する
- ↓ パソコンと接続して充電する

! 充電時のご注意

本機または周辺機器が濡れている状態では、USB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。

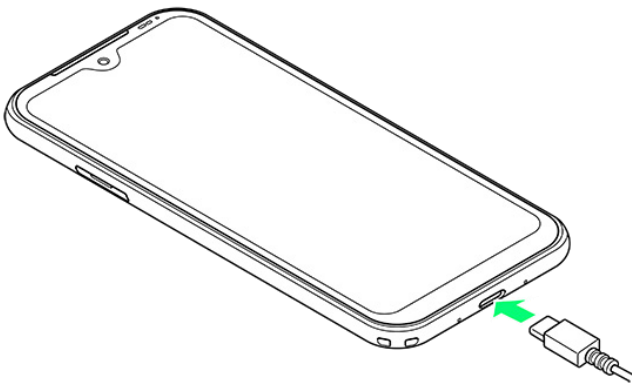
ACアダプタで充電する

ACアダプタは、ソフトバンク指定のACアダプタをお使いください。ACアダプタ、およびその他の周辺機器についてはソフトバンクのウェブサイトを参照してください。

ここでは、付属品のACアダプタ[KYCAV1]を使用して充電する方法を例に説明します。

1

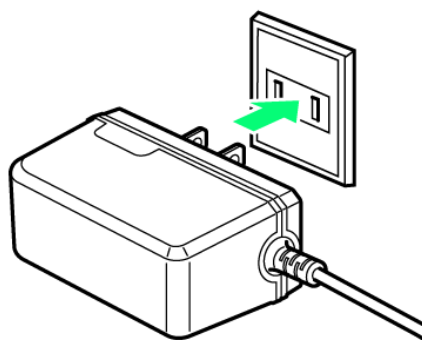
本機の外部接続端子に、ACアダプタのUSB Type-Cプラグを差し込む



- USB Type-Cプラグのコネクタを持って、図のようにまっすぐ差し込んでください。

2

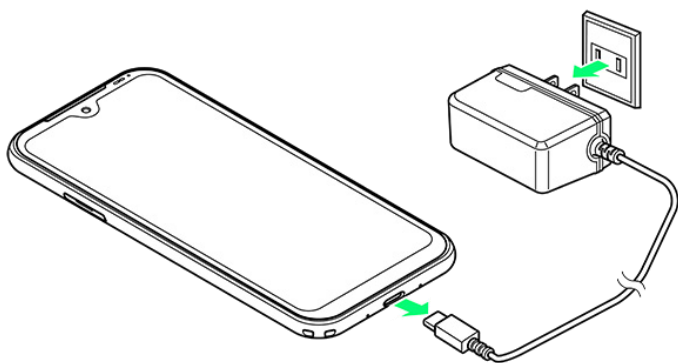
ACアダプタの電源プラグを、家庭用ACコンセントに差し込む



充電が始まると、通知／充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると、通知／充電ランプが緑色に点灯します。

3

充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、ACアダプタのUSB Type-Cプラグを本機から取り外す



充電が終了します。

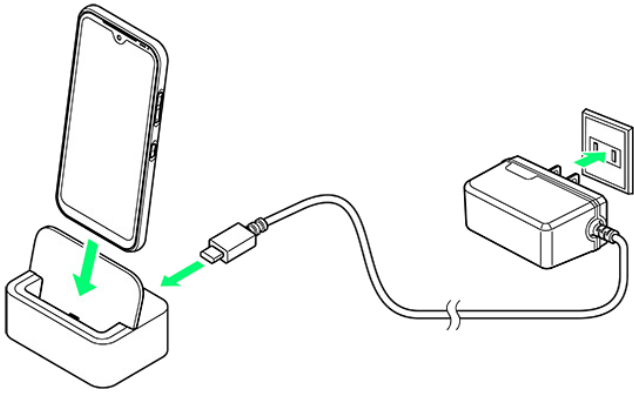
卓上ホルダー(オプション品)で充電する

卓上ホルダーはオプション品です。ソフトバンク指定の卓上ホルダーをお使いください。

卓上ホルダー、およびその他の周辺機器についてはソフトバンクのウェブサイトをご参照ください。

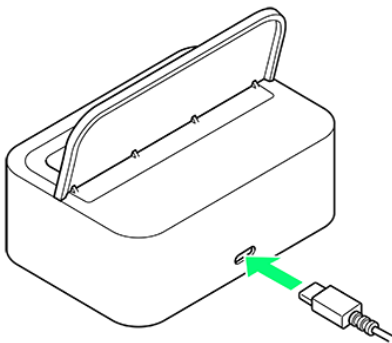
ここでは、付属品のACアダプタ[KYCAV1]と、オプション品の卓上ホルダー[KYEDS1]を使用して充電する方法を例に説明します。

■ お使いになる卓上ホルダーの取扱説明書を参照してください。



1

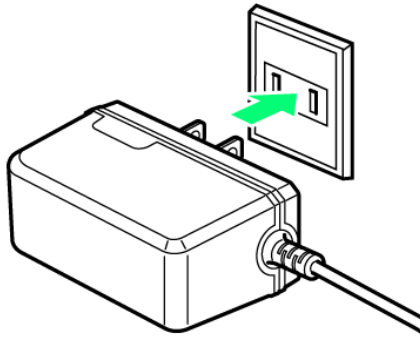
ACアダプタのUSB Type-Cプラグを卓上ホルダーの接続端子に差し込む



- 接続端子はUSB Type-C専用です。microUSB (Type-B)を無理に差し込むと破損・故障の原因となります。
- USB Type-Cプラグを差し込むときは、プラグ先端の変形、破損に注意し、接続端子にまっすぐ差し込んでください。
- USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。

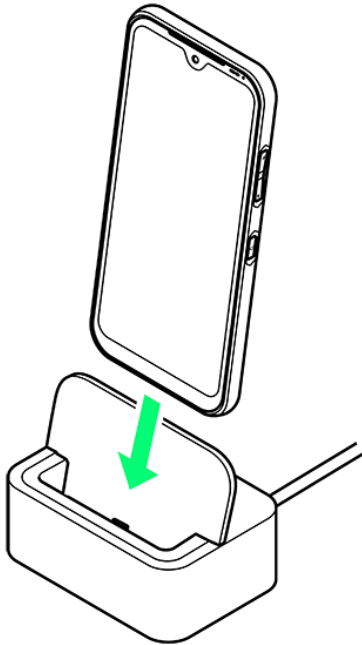
2


ACアダプタの電源プラグを家庭用ACコンセントに差し込む



3

本機を卓上ホルダーに取り付ける



 充電が始まると、通知／充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると、通知／充電ランプが緑色に点灯します。

- 矢印の方向に本機をはめ込みます。本機と卓上ホルダーの向きに注意して、外部接続端子に奥までしっかりとまっすぐに差し込むように取り付けてください。

4

充電が完了したら、卓上ホルダーから本機を取り外し、ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントから抜く

5

卓上ホルダーの接続端子からACアダプタのType-Cプラグを取り外す

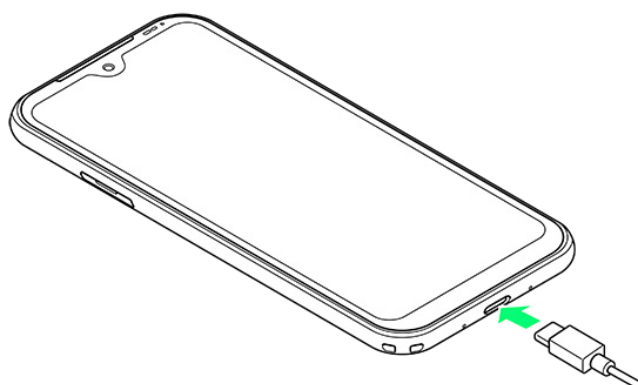
 充電が終了します。

パソコンと接続して充電する

必ずパソコンの電源を入れた状態で行ってください。
パソコンの接続環境によっては、充電できない場合があります。

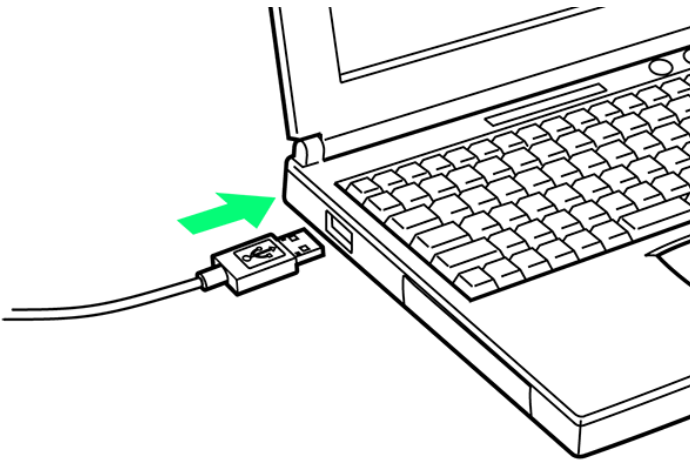
1

本機の外部接続端子に、PC接続用USB Type-CケーブルのUSB Type-Cプラグを差し込む



2

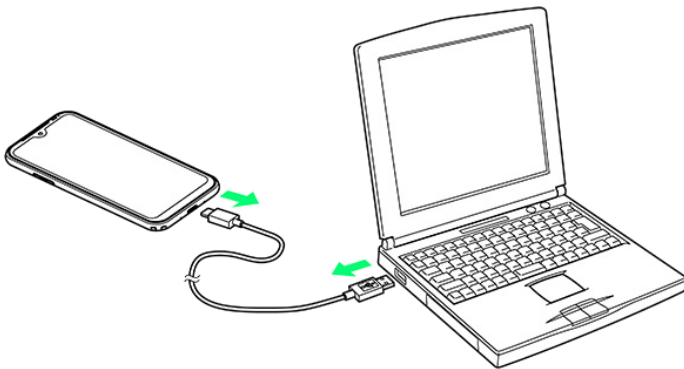
パソコンのUSB端子に、PC接続用USB Type-CケーブルのUSBプラグを差し込む



充電が始まると、通知／充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると、通知／充電ランプが緑色に点灯します。

3

充電が完了したら、本機とパソコンからPC接続用USB Type-Cケーブルを取り外す



充電が終了します。

電源を入れる／切る

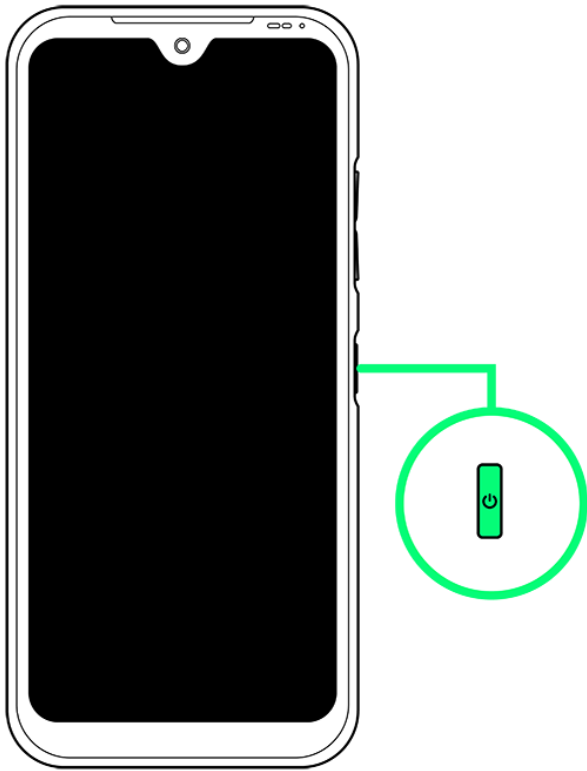
本機を操作しても画面が変わらない、アプリが開かないといった、正常に動作していない場合は、本機を強制的に再起動してください。

- ↓ 電源を入れる
- ↓ 電源を切る
- ↓ 再起動する
- ↓ 強制的に再起動する
- ↓ セーフモードで起動する

電源を入れる

1

電源キーを長押し



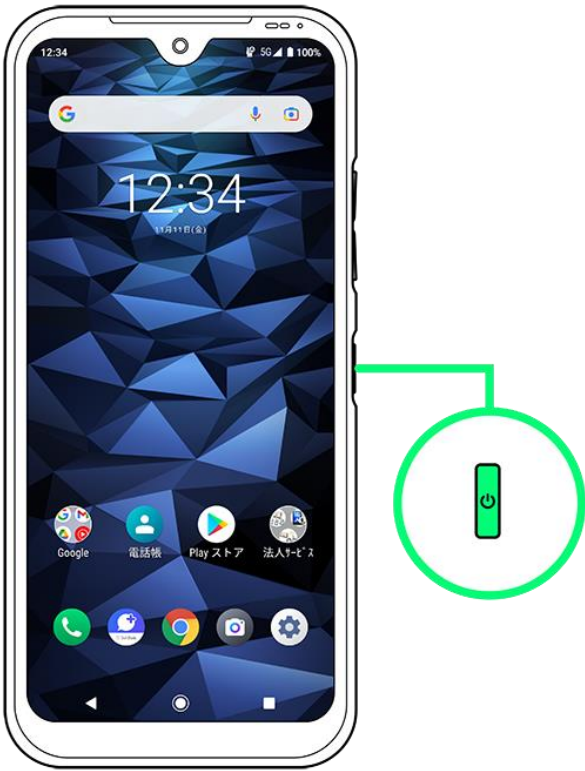
🚩 スタート画面が表示されます。

- スタート画面のセキュリティ解除については「[スリープを解除する](#)」を参照してください。
- はじめて電源を入れたときは、初期設定ウィザードが起動します。設定については「[初期設定を行う](#)」を参照してください。

電源を切る

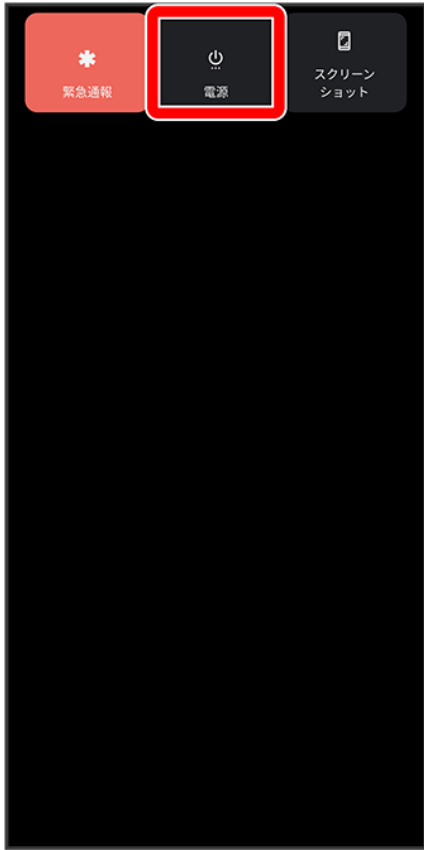
1

電源キーを長押し



2


電源



3

電源を切る

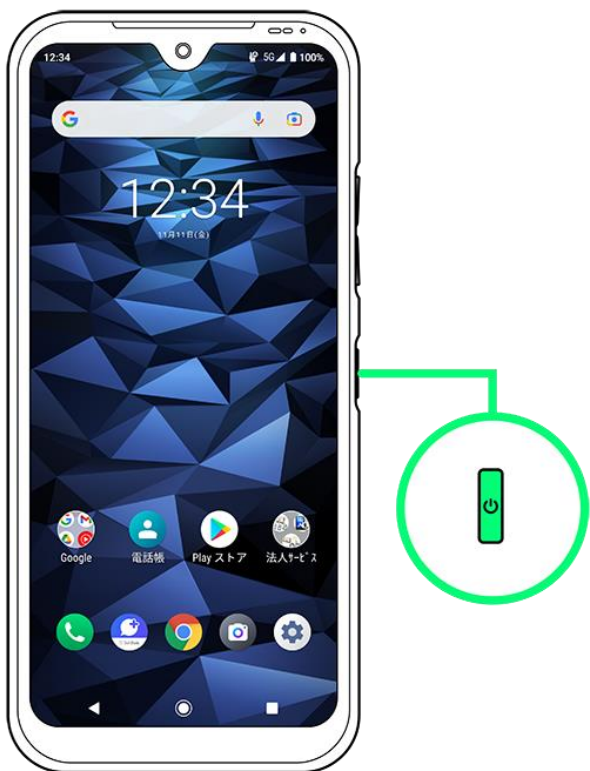


 電源が切れます。

再起動する

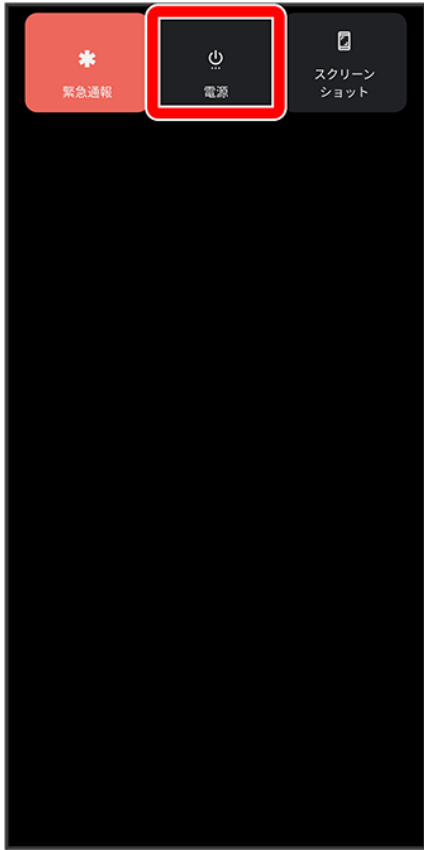
1

電源キーを長押し



2


電源



3

再起動



 再起動します。

強制的に再起動する

1

電源キーと音量大キーを同時に10秒以上長押し

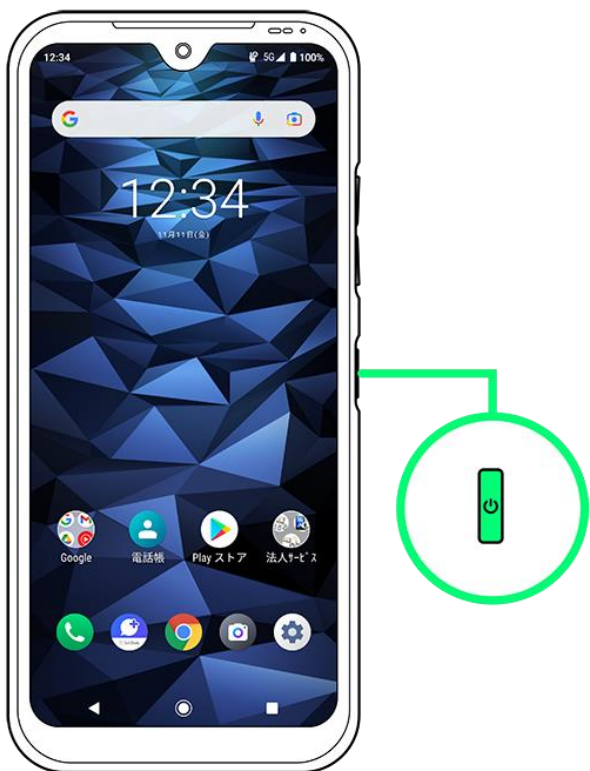


🚩 強制的に再起動します。

セーフモードで起動する

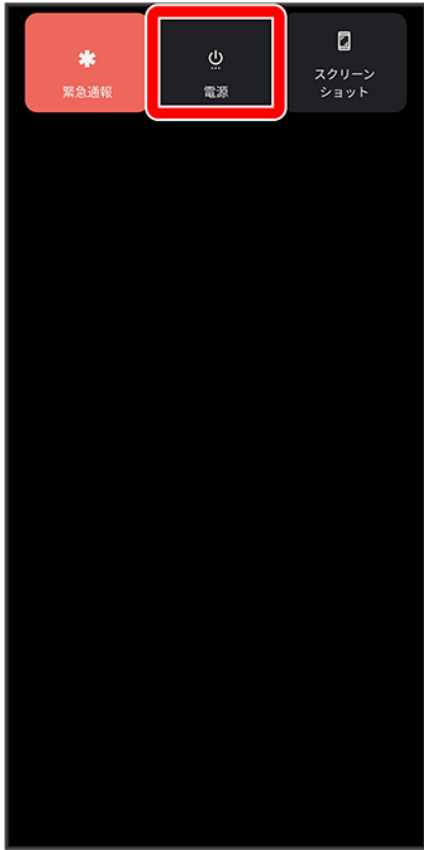
1

電源キーを長押し



2

電源



3

電源を切るをロングタッチ



4

表示を確認してOK



🚩 セーフモードで起動します。

- セーフモードで電源を入れると、画面左下に「セーフモード」と表示されます
- セーフモードで再起動すると、通常の状態でも電源を入れることができます。

⚠️ セーフモードで起動時の注意

セーフモードで起動する時は、次の点にご注意ください。

- セーフモードで電源を入れる前に、必要なデータはバックアップをとることをお勧めします。
- セーフモードで電源を入れると、追加していたウィジェットが削除されることがあります。

初期設定を行う

はじめて本機の電源を入れたときは、初期設定画面が表示され、Wi-FiやGoogle™ アカウントなどの設定を行うことができます。画面の指示に従って、各項目を設定してください。

↓ 初期設定を行う

初期設定を行う

1

日本語(日本)を選択 → 開始



2

SIMをダウンロードしますか？



3

接続するWi-Fiネットワークを選択



- Wi-Fi設定を省略するときは、**セットアップ時にモバイル ネットワークを使用する** / **オフラインで設定**を選択します。以降は、画面の指示に従って操作してください。

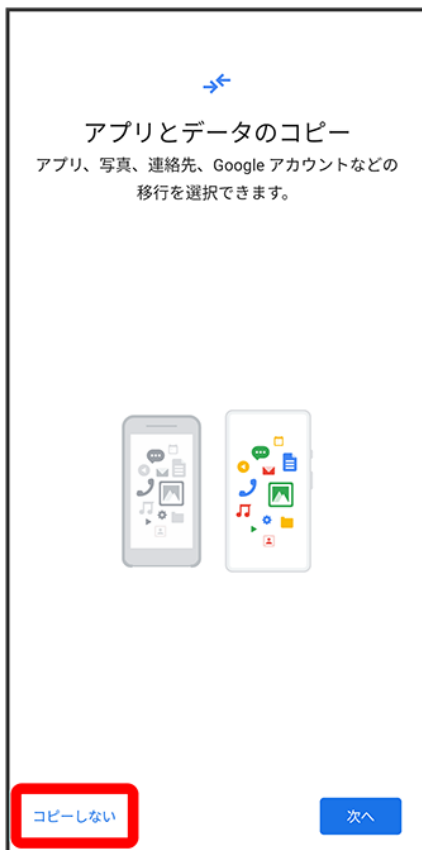
4

画面の指示に従ってWi-Fiを設定



5

コピーしない



- **次へ**をタップすると、ほかの端末からデータをコピーできます。画面の指示に従って操作してください。

6

画面の指示に従って、Google アカウントを設定



- Google アカウントについて詳しくは、「[Google アカウントを設定する](#)」を参照してください。
- Google アカウントを設定しないときは、**スキップ**  **スキップ** と操作します。

7

画面の指示に従って、Google サービスを設定



Google サービス

●●●●●●●●●●@gmail.com

後で有効または無効にする方法など、各サービスの詳細を確認するにはタップします。データはGoogleの[プライバシー ポリシー](#)に従って使用されます。

バックアップとストレージ

Google ドライブへのバックアップ

アップ



データの復元やデバイスの切り替えがいつでも簡単にできます。バックアップ対象には、アプリ、アプリデータ、通話履歴、連絡先、デバイスの設定（Wi-Fi のパスワードや権限など）、SMS が含まれます。

バックアップは安全に暗号化され、Google にアップロードされます。一部のデータについては、デバイスの画面ロック用の PIN、パターン、パスワードを使用して暗号化が強化されます。

位置情報

もっと見る

8

同意する

BluetoothがOFFの場合でも、Wi-Fi ネットワークや付近のデバイスのスキャンを常に許可します。

デバイスのメンテナンス

使用状況データや診断データの送信



Android デバイスの機能向上のため、診断データとデバイスやアプリの使用状況データを Google に自動的に送信します。こうしたデータは、電池寿命、システムやアプリの安定性などの改善に役立ちます。統計情報の一部は、Google アプリや、Android デベロッパーなどのパートナーにも役立ちます。[その他のウェブとアプリのアクティビティ]をONにすると、このデータは Google アカウントに保存されます。

アップデートやアプリのインストール

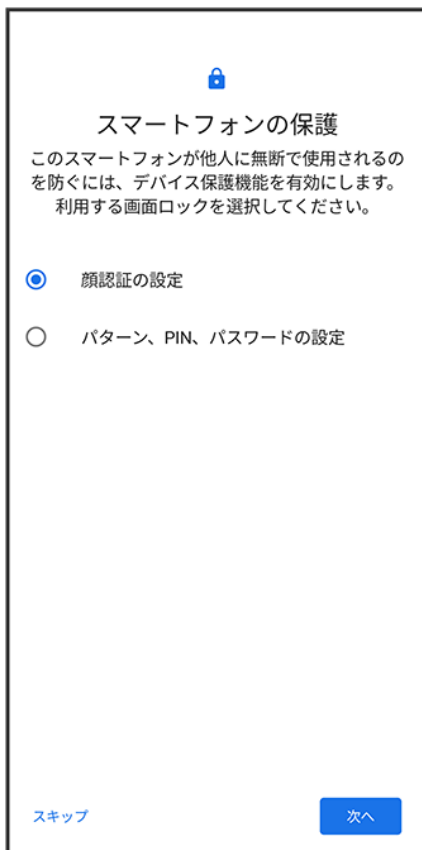
続行すると、Google、ご利用の携帯通信会社、デバイス メーカーからのアップデートやアプリもデバイスが自動的に（場合によってはモバイルデータ接続を使用して）ダウンロードし、インストールする場合があります。データ通信料が発生する場合があります。こうしたアプリの一部ではアプリ内購入が提案される場合もあります。

[同意する]をタップすると、この Google サービスの設定の選択内容を確認したことになります。

同意する

9

画面の指示に従って、スタート画面のセキュリティを設定



- スタート画面のセキュリティを設定しないときは、**スキップ**をタップします。

10

画面の指示に従って、Google アシスタントを設定



11

画面の指示に従って、Google Payを設定

- **カードを追加**をタップすると、クレジットカード情報の登録ができます。画面の指示に従って操作してください。
- クレジットカード情報の登録をしないときは、**スキップ**をタップします。

12

画面の指示に従って、その他の設定項目を設定



- その他の設定項目を設定しないときは、**いいえ**をタップすると、設定が完了します。

13

設定完了



🚩 設定が完了します。

Google アカウントを設定する

Google アカウントを利用すれば、Googleサービスをより便利に活用できます。Google アカウントがないと利用できなかったり、機能が制限されたりするアプリがあります。

↓ Google アカウントを作成する

↓ Google アカウントでログインする

Google アカウント利用時のご注意

Google アカウントのメールアドレスやパスワードはお忘れにならないようご注意ください。

Google アカウントを作成する

1

ホーム画面で (設定)



2

アカウント



3


アカウントを追加



4

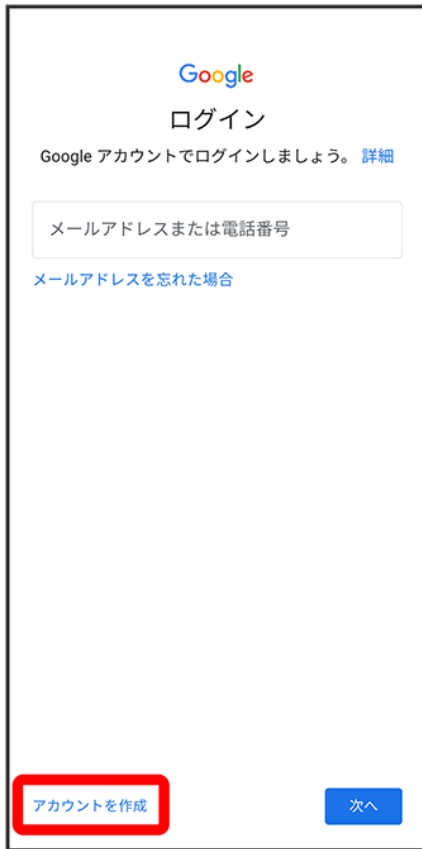
Google



 Google アカウントのログイン画面が表示されます。

5

アカウントを作成



6

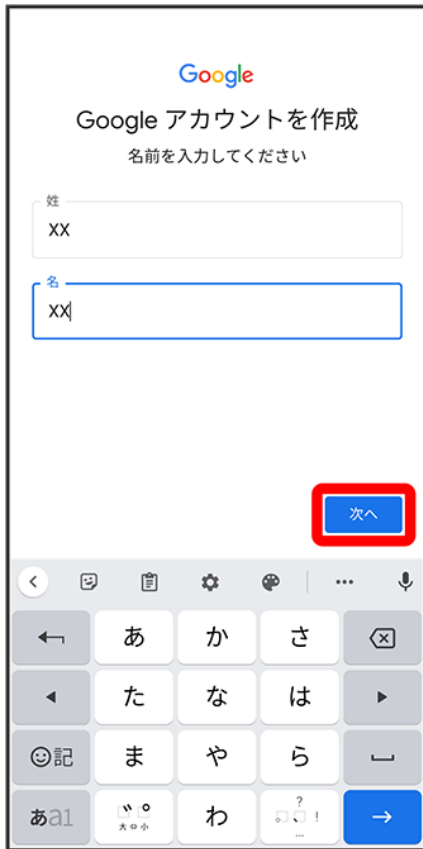
自分用



- 子供用のアカウントを作成する場合は、**子供用**をタップして画面の指示に従って操作してください。

7

姓を入力 ➡ 名を入力 ➡ **次へ**



8

生年月日を入力 ➡ 性別を入力 ➡ 次へ

Google

基本情報

生年月日と性別を入力してください

年 XXXX 月 X月 ▼ 日 XX

性別
指定しない ▼

次へ

9

ユーザー名(メールアドレス)を選択 → 次へ

Google

Gmail アドレスの選択

Gmail アドレスを選択するか、独自のアドレスを作成することができます

●●●●●●@gmail.com

●●●●●●@gmail.com

自分で Gmail アドレスを作成

次へ

- お好みのユーザー名（メールアドレス）を作成する場合は、自分で Gmail アドレスを作成 → ユーザー名（メールアドレス）を入力 → 次へと操作してください。

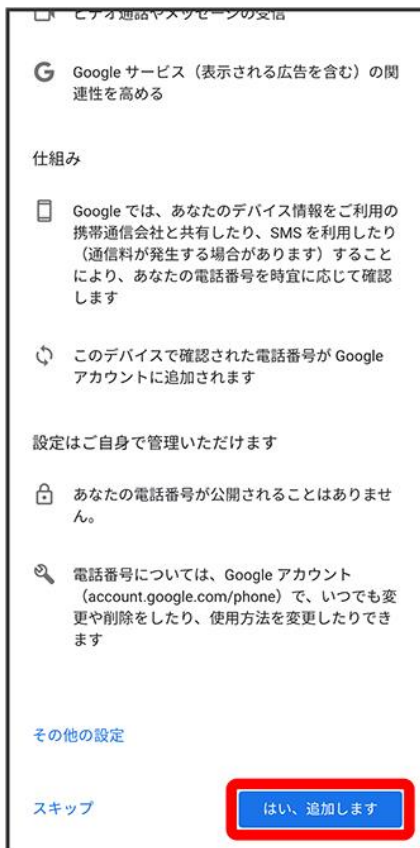
10

パスワードを入力 → 次へ



11

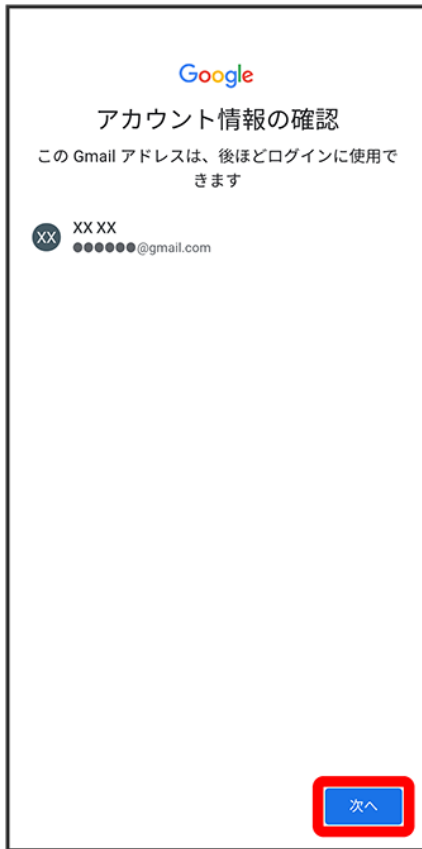
はい、追加します



- 電話番号の追加をしないときは**スキップ**をタップします。
- セキュリティ保護目的でのみ電話番号を追加するときは、**その他の設定**をタップします。以降は、画面の指示に従って操作してください。

12

次へ



13

プライバシーポリシーと利用規約を確認して同意する

アカウントの設定が完了しました。Google サービスだけでなく、Google のサービスを利用しているサイトやアプリでも、パーソナライズド広告を配信するため。

- 詐欺や不正使用を防いでセキュリティを向上するため。
- 分析や測定を通じてサービスがどのように利用されているかを把握するため。Google には、サービスがどのように利用されているかを測定するパートナーもいます。こうした広告パートナーや測定パートナーについての説明をご覧ください。

データを統合する


また Google では、こうした目的を達成するため、Google のサービスやお使いのデバイス全体を通じてデータを統合します。アカウントの設定内容に応じて、たとえば検索や YouTube を利用した際に得られるユーザーの興味や関心の情報に基づいて広告を表示したり、膨大な検索クエリから収集したデータを使用してスベル訂正モデルを構築し、すべてのサービスで使用したりすることがあります。

設定はご自身で管理いただけます

アカウントの設定に応じて、このデータの一部はご利用の Google アカウントに関連付けられることがあります。Google はこのデータを個人情報として取り扱います。Google がこのデータを収集して使用する方法は、下の [その他の設定] で管理できます。設定の変更や同意の取り消しは、アカウント情報 (myaccount.google.com) でいつでも行えます。

[その他の設定](#) ▾

同意する

 アカウントの作成が完了します。

Google アカウントでログインする

1

ホーム画面で  (設定)



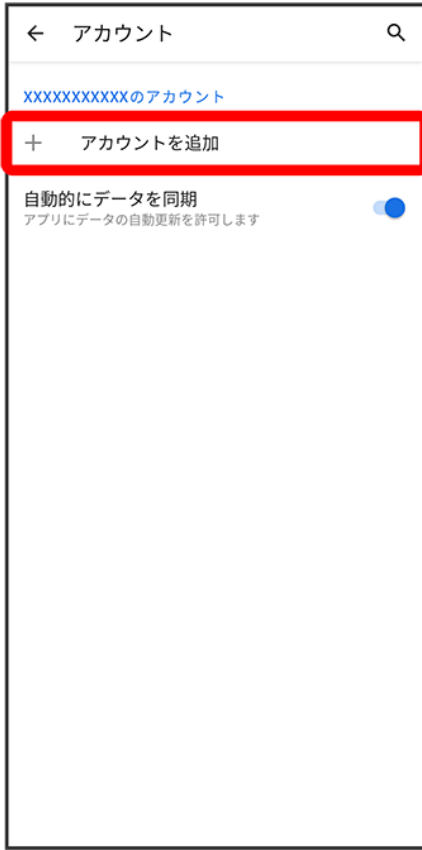
2

アカウント



3


アカウントを追加




4

Google



 Google アカウントのログイン画面が表示されます。

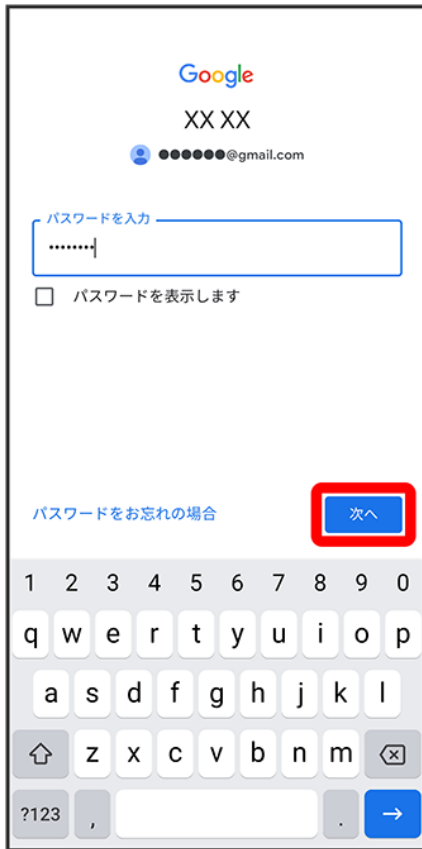
5

Google アカウントのログイン画面でメールアドレスを入力  **次へ**




6

パスワードを入力 ➡ 次へ



7

以降は、画面の指示に従って操作

 Google アカウントのログインが完了します。

スリープを解除する

一定時間何も操作しないと、画面が消灯します。電源キーを押して手動でスリープにすることもできます。電池の消耗を抑えられ、タッチパネル操作を受け付けなくなるので誤動作を防ぐことができます。

↓ スリープについて

↓ スタート画面のセキュリティを解除する

スリープについて

本機を一定時間何も操作しないと、電池の消費を抑えるため画面が消灯します（スリープ）。タッチパネル操作も受け付けなくなるので、誤動作を防ぐことができます。

- 画面点灯時に電源キーを押すと、手動でスリープにすることができます。



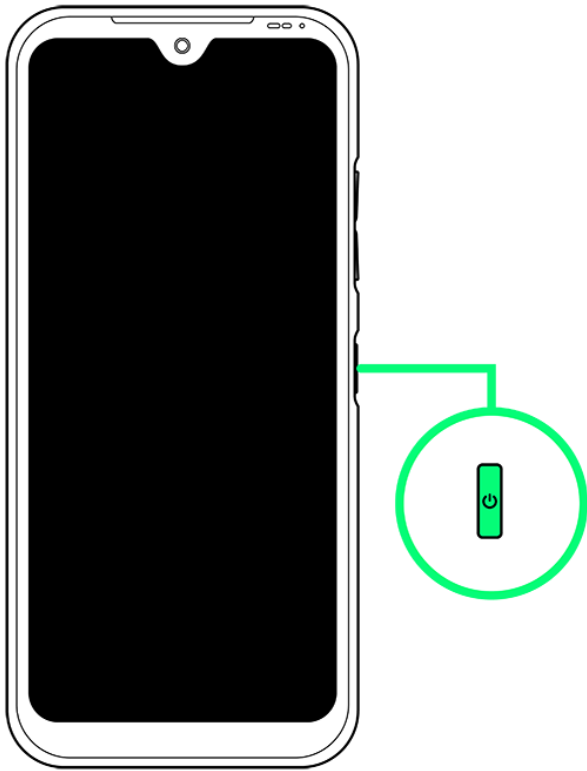
音楽再生中にスリープになったとき

音楽再生は継続されます。画面消灯（スリープ）中に電源キーを押すと、スタート画面に操作パネルが表示され、操作することができます（利用するアプリによっては、動作が異なる場合があります）。

スタート画面のセキュリティを解除する

1

スリープ中に電源キーを押す




🚩 スタート画面が表示されます。

2

画面を上フリック



 ホーム画面が表示されます。

- スタート画面のセキュリティをパターン／ロックNo.／パスワードに設定している場合は、画面の指示に従ってセキュリティを解除してください。
- スタート画面のセキュリティは変更することができます。スタート画面のセキュリティの設定については「[セキュリティの設定](#)」を参照してください。
- 顔データを登録している場合は、画面点灯時に自動的に顔認証され、画面ロックを解除できます。顔認証については「[顔認証機能を利用する](#)」を参照してください。


基本的な操作のしくみ

↓ 項目選択と画面移動

↓ メニュー操作

項目選択と画面移動

項目やアイコン、画面のキーなどをタップすると、該当する操作の画面に移動します。

■ 1つ前の画面に戻るときは、をタップします。

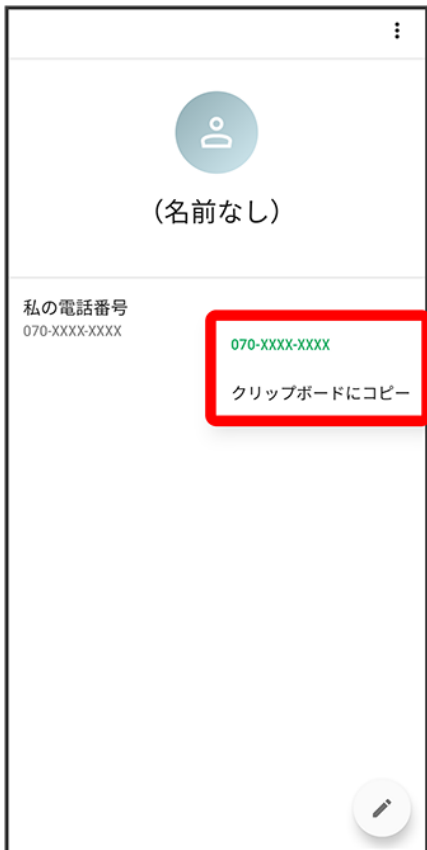


メニュー操作

⋮ をタップすると、その画面で利用できる機能の設定や項目が画面に表示されます。



また、画面をロングタッチすると利用できる設定や項目が表示される画面もあります。



タッチパネルの使いかた

本機のディスプレイはタッチパネルです。指で直接触れて操作できます。

- ↓ タップ
- ↓ ロングタッチ
- ↓ ドラッグ
- ↓ フリック(スワイプ)
- ↓ ピンチ

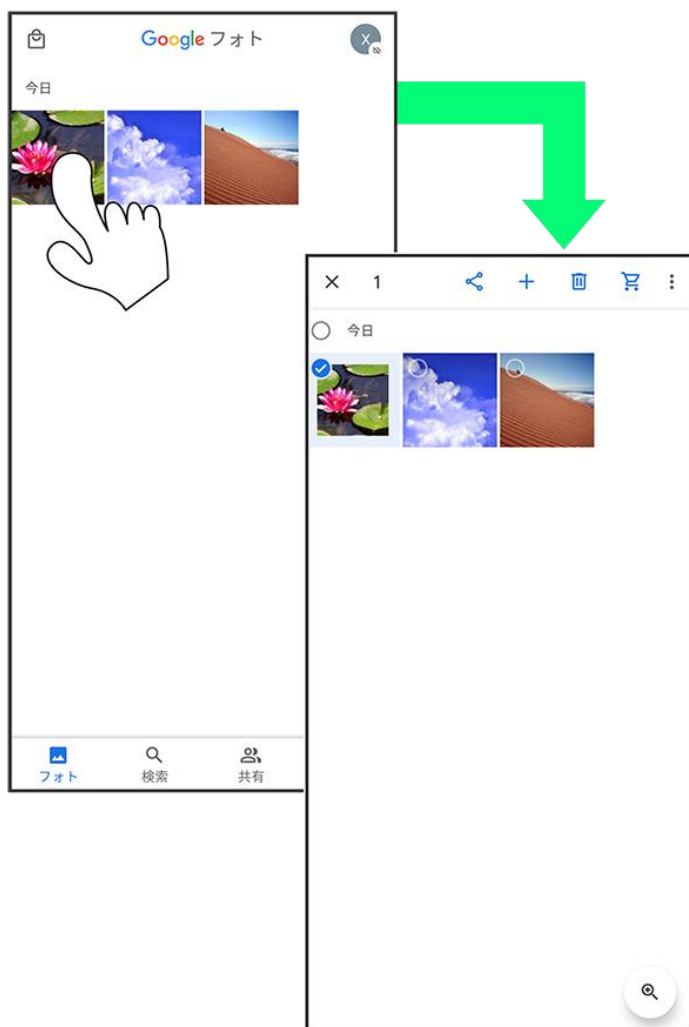
タップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。



ロングタッチ

画面に軽く触れたまま、しばらくそのままにしておきます。画面が切り替われば指を離します。



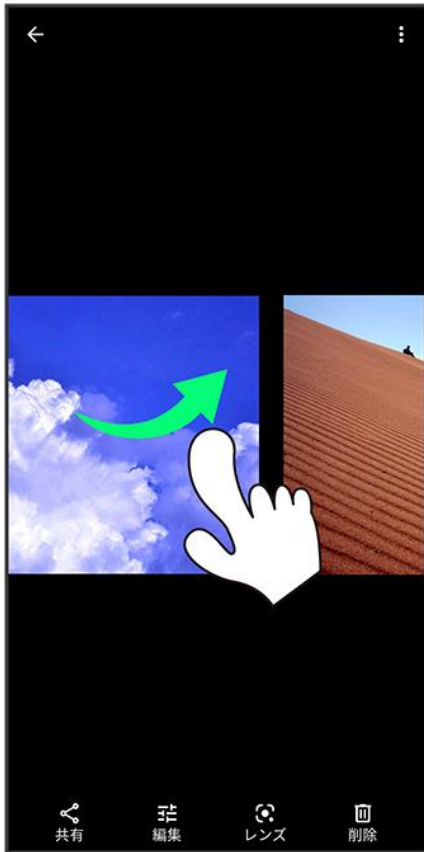
ドラッグ

アイコンなどの対象物に軽く触れたまま、目的の位置までなぞり、指を離します。



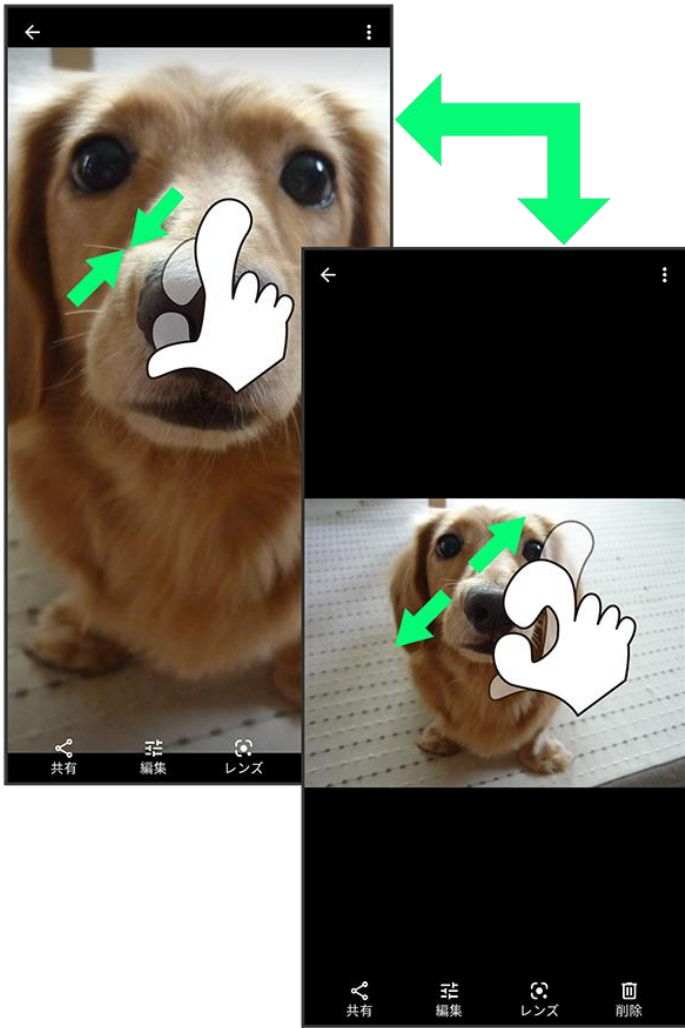
フリック(スワイプ)

画面に軽く触れて、上下左右に指を軽くはじきます。



ピンチ

2本の指で画面に触れ、指を開いたり閉じたりします。



マナーモードについて

周囲に迷惑がかからないよう、着信音や操作音などが鳴らないように設定できます。

↓ マナーモード(バイブレーション)に設定する

↓ マナーモード(ミュート)に設定する

↓ マナーモード(ドライブ)に設定する

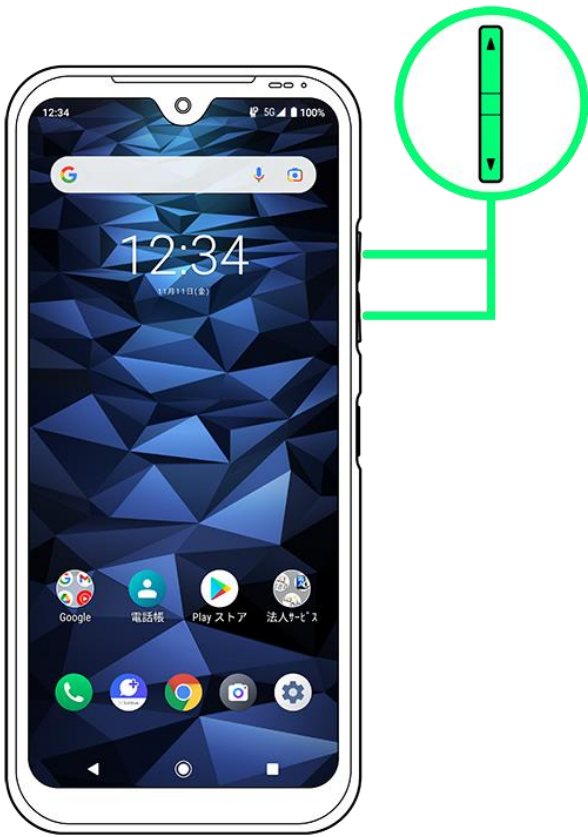
! マナーモード設定中の注意

マナーモードをバイブレーション／ミュートに設定中は、シャッター音、動画撮影時の撮影開始／終了音、アラーム、動画・音楽などの音声は消音されません。ドライブモードの場合は、アラーム音、動画・音楽などの音声は消音されます。

マナーモード(バイブレーション)に設定する

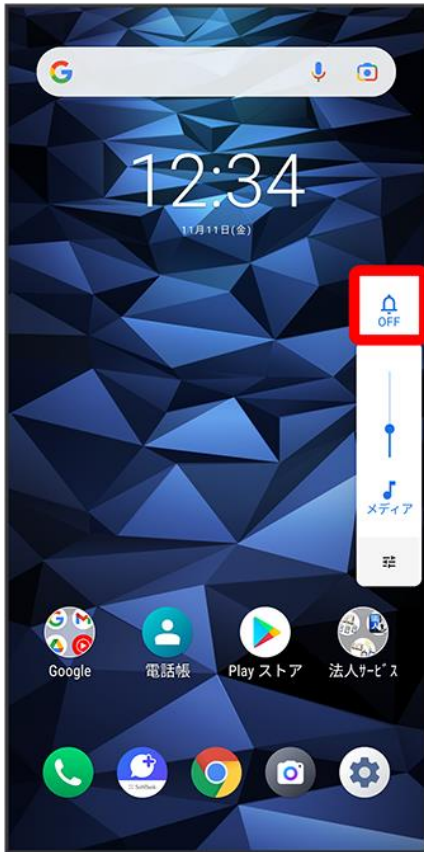
1


音量大／小キーを押す



2

 (OFF)





アイコンが  (バイブ) に変わり、マナーモード(バイブレーション)に設定されます。





マナーモード(バイブレーション)利用時の操作



クイック設定パネルから設定する



クイック設定パネルからマナーモード(バイブレーション)を設定することができます。

ステータスバーを2本指で下にフリック   (OFF)

マナーモード(バイブレーション)を解除する

音量大／小キーを押す  音量調節バーが表示されている間に  (バイブ)   (ミュート)

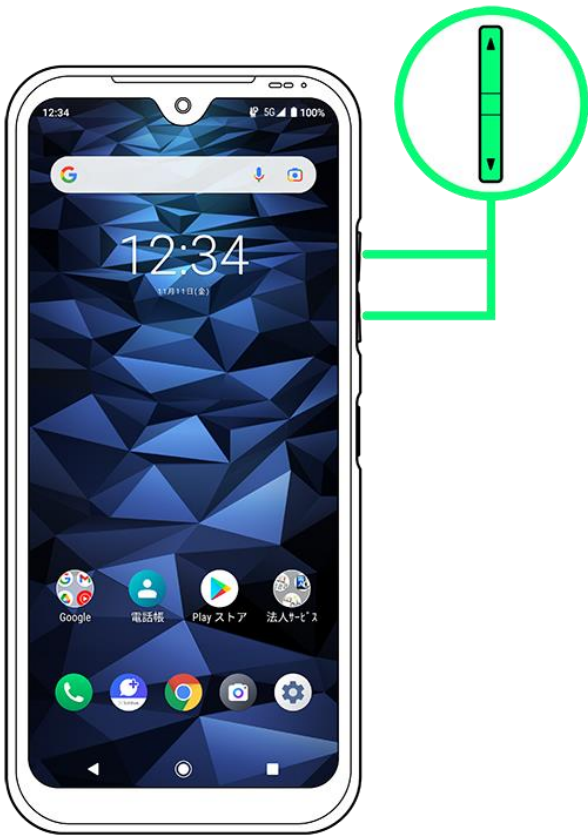
  (ドライブ)

 アイコンが  (OFF) に変わり、マナーモードが解除されます。

マナーモード(ミュート)に設定する

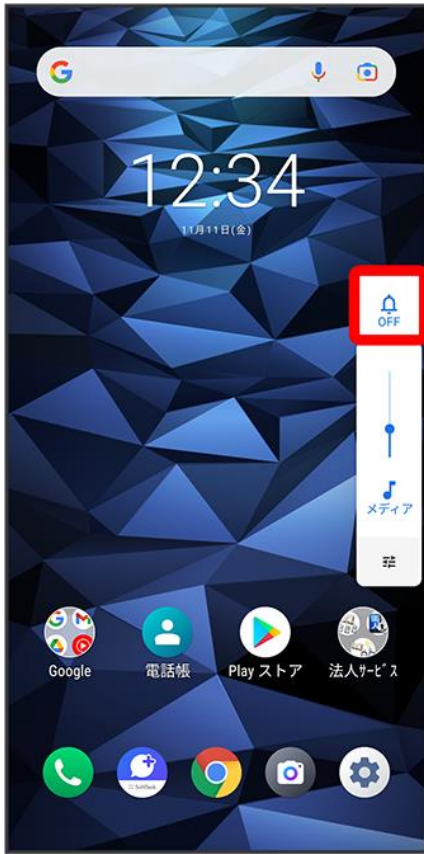
1

音量大／小キーを押す




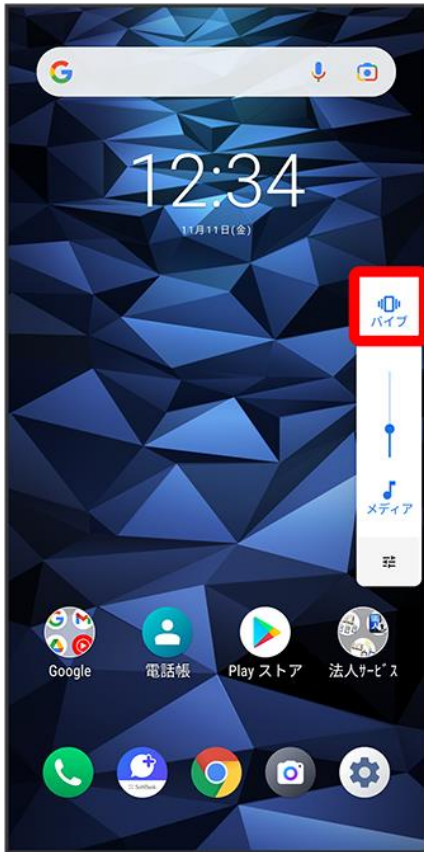
2


 (OFF)



3

音量調節バーが表示されている間に  (バイブ)





アイコンが  (ミュート) に変わり、マナーモード(ミュート)に設定されます。



マナーモード(ミュート)利用時の操作



クイック設定パネルから設定する

クイック設定パネルからマナーモード(ミュート)を設定することができます。

ステータスバーを2本指で下にフリック  (OFF)  (バイブ)

マナーモード(ミュート)を解除する

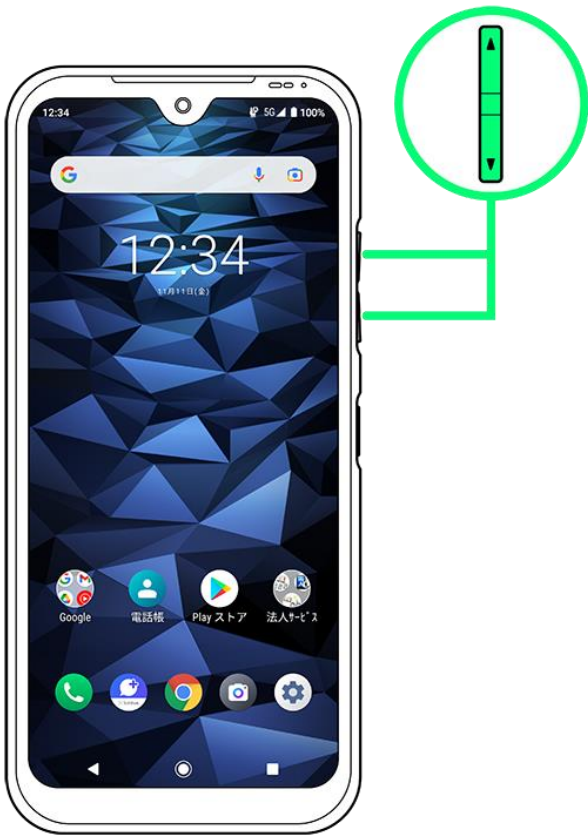
音量大／小キーを押す  (ミュート)  (ドライブ)

 アイコンが  (OFF) に変わり、マナーモードが解除されます。

マナーモード(ドライブ)に設定する

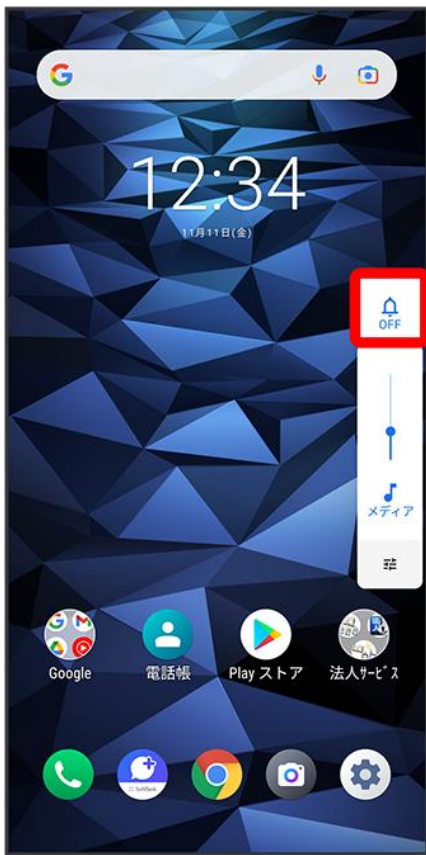
1

音量大／小キーを押す




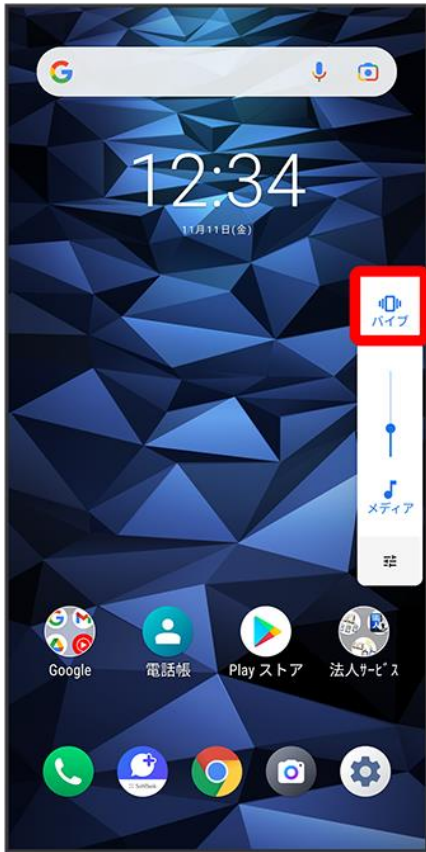
2

 (OFF)




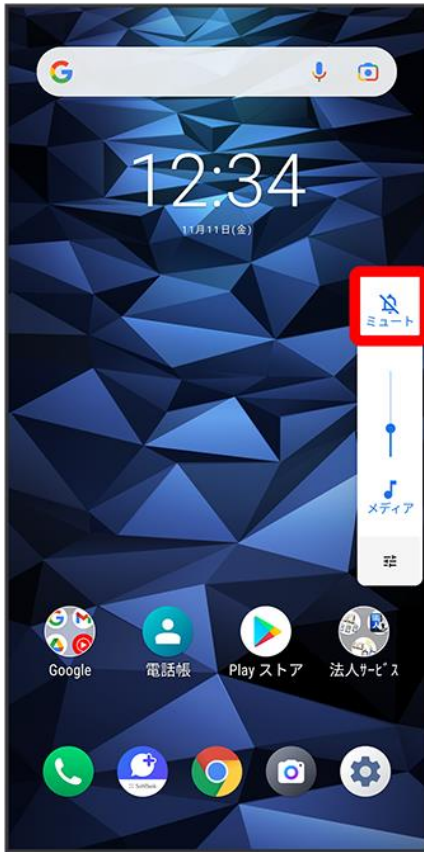
3


音量調節バーが表示されている間に  (バイブ)



4

音量調節バーが表示されている間に  (ミュート)



アイコンが  (ドライブ) に変わり、マナーモード(ドライブ)に設定されます。



マナーモード(ドライブ)利用時の操作



クイック設定パネルから設定する

クイック設定パネルからマナーモード(ドライブ)を設定することができます。

ステータスバーを2本指で下にフリック   (OFF)   (バイブ)   (ミュート)

マナーモード(ドライブ)を解除する

音量大／小キーを押す  音量調節バーが表示されている間に  (ドライブ)

 アイコンが  (OFF) に変わり、マナーモードが解除されます。

機内モードについて

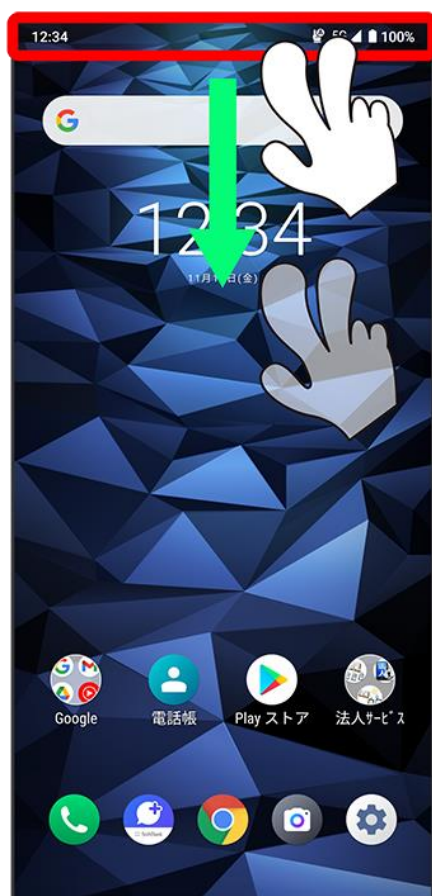
電源を入れたまま、電波を発する機能をすべて無効にできます。


↓ 機内モードを利用する

機内モードを利用する

1

ステータスバーを2本指で下にフリック



 クイック設定パネルが表示されます。

クイック設定パネルを左にフリック → (機内モード)



機内モードが設定されます。

- 機内モードを設定しているときに、同様の操作を再度行うと機内モードが解除されます。








文字を入力する

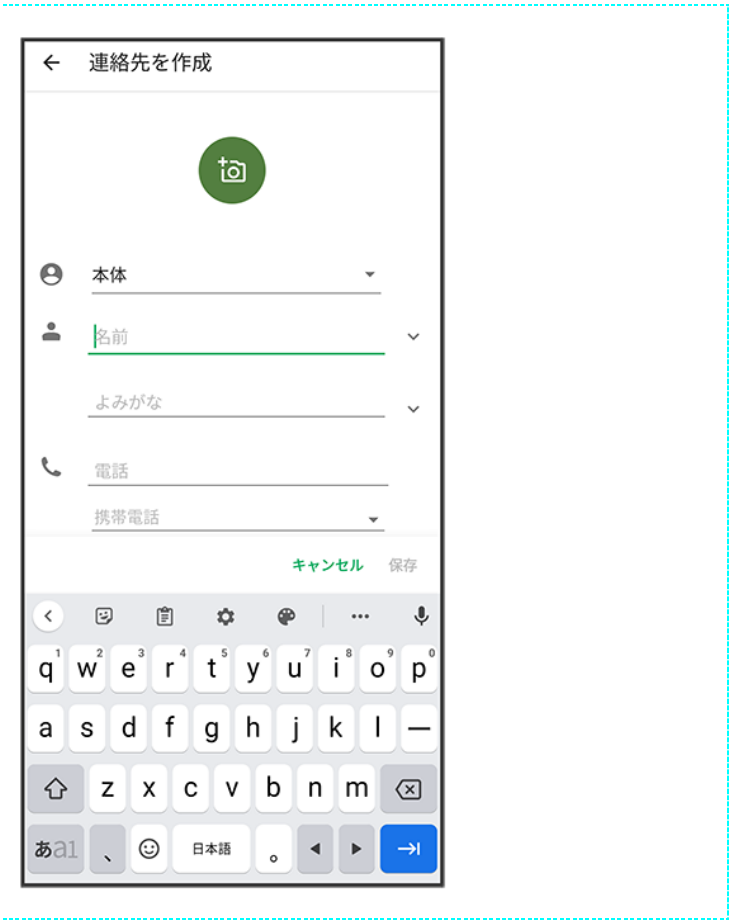
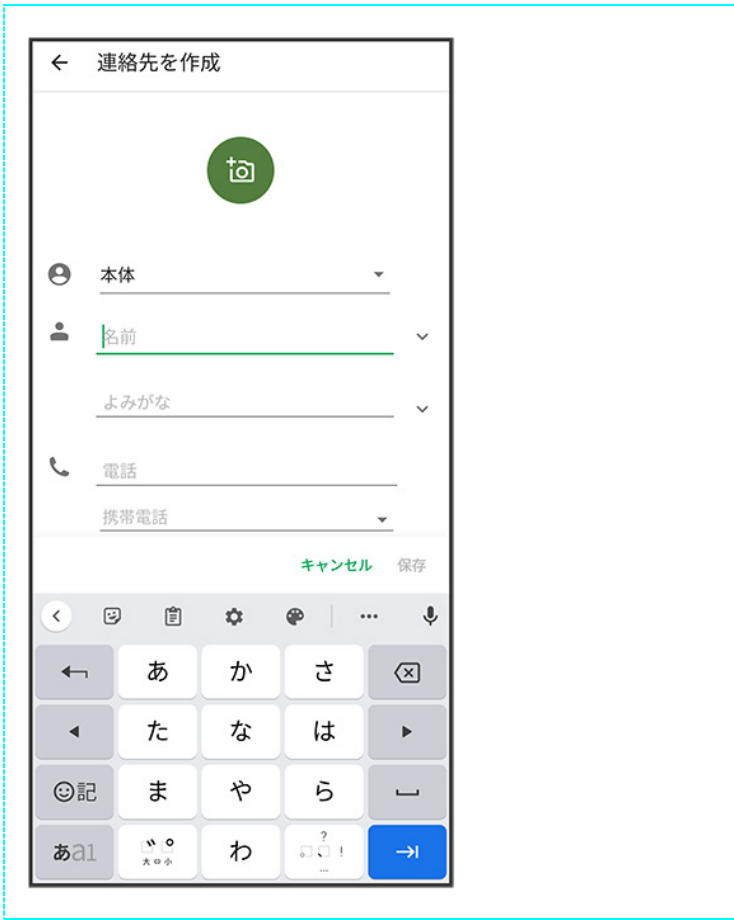
- ↓ キーボードについて
- ↓ 12キー画面の見かた
- ↓ QWERTY画面の見かた
- ↓ 文字種(文字入力モード)を切り替える
- ↓ ひらがなを入力する(12キー)
- ↓ フリック入力について
- ↓ 文字を切り取り／コピーして貼り付ける
- ↓ 文字入力の設定を行う

キーボードについて

文字を入力するときは、ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使用します。

ソフトウェアキーボードには、携帯電話のキーボードのようなレイアウトの「12キー」、パソコンのキーボードのようなレイアウトの「QWERTY」、手書きで文字を入力できる「手書き」、ローマ字入力に特化したレイアウトの「GODAN」があります。

- キーボードをはじめてご利用になるときに、ひらがな／アルファベット入力時に使用するキーボードを選択できます。画面の指示に従って操作してください。
- 「12キー」、「QWERTY」、「手書き」、「GODAN」を切り替えるには、キーボード表示中に   言語 
日本語  12 キー / QWERTY / 手書き / GODAN ( 表示)  完了 をタップします。
- キーボードを非表示にするには、 をタップします。



12キー画面の見かた

The image shows a screenshot of the Japanese keyboard interface on a mobile device. The keyboard is displayed over a form titled '連絡先を作成' (Create Contact). The keyboard has 15 numbered callouts (1-15) pointing to various keys and icons. The callouts are as follows:

- 1: Points to the left arrow key.
- 2: Points to the '絵文字' (Emoji) icon.
- 3: Points to the left arrow key.
- 4: Points to the left arrow key.
- 5: Points to the '絵文字' (Emoji) icon.
- 6: Points to the '設定' (Settings) icon.
- 7: Points to the '音声入力' (Voice Input) icon.
- 8: Points to the right arrow key.
- 9: Points to the right arrow key.
- 10: Points to the right arrow key.
- 11: Points to the right arrow key.
- 12: Points to the 'あa1' key.
- 13: Points to the 'いi' key.
- 14: Points to the 'わ' key.
- 15: Points to the '。' key.



The 15 numbered instructions are:

- よく使う機能のショートカットが表示されます(ツールバー)。
- ツールバーを表示／非表示にします。
- 文字を確定前に戻します。入力中の文字を文字入力キーに割り当てられている1つ前の文字に戻します。
- カーソルを左に移動します。フリックした方向にカーソルを移動します。
- 絵文字／ステッカー／顔文字／記号のリストを表示します。
- 設定メニューを表示します。
- 音声入力を起動します。
- カーソルの前の文字を削除します。
- カーソルを右に移動します。フリックした方向にカーソルを移動します。
- スペース入力、または文字の変換を行います。キーボードを複数使用している場合は、ロングタッチで使用したいキーボードを選択できます。
- 改行入力、または次の入力欄にカーソルを移動します。未確定の文字がある場合は、文字を確定します。¹
- 文字入力モードを切り替えます(ひらがな／英字／数字)。²
- 入力中の文字に対し、「`」(濁点)／「°」(半濁点)の入力、および大文字／小文字への変換を行います。³
- キーに割り当てられている文字を入力します。
- 「、」(読点)、「。」(句点)などを入力します。


1 [→] にタッチしたまま各アイコンにドラッグすると、次のような機能を利用できます。

👉: 絵文字／ステッカー／顔文字／記号のリストを表示します。(キーボード複数使用時のみ)

← / →: 前／次の入力欄にカーソルを移動します。



- ④: 片手モードを設定します。
- 2  にタッチしたまま各アイコンにドラッグすると、次のような機能を利用できます。
 - ⑥: 設定メニューを表示します。
 - ④: 片手モードを設定します。
 - 3 キーボードを複数使用している場合は、 が表示されます。タップすると、設定した順にキーボードが切り替わります。ロングタッチすると使用したいキーボードを選択できます。












QWERTY画面の見かた



The image shows a screenshot of a mobile device's contact creation screen with a QWERTY keyboard overlaid. The keyboard has 13 numbered callouts (1-13) pointing to specific keys and features. The callouts are: 1 (Backspace), 2 (Toolbar), 3 (Spacebar), 4 (Shift), 5 (Language/Emoji), 6 (Settings), 7 (Voice Input), 8 (Delete), 9 (Enter), 10 (Punctuation), 11 (Stickers), 12 (Space/Compose), and 13 (Arrow keys).

- ① よく使う機能のショートカットが表示されます(ツールバー)。
- ② ツールバーを表示／非表示にします。
- ③ キーに割り当てられている文字を入力します。
- ④ 大文字／小文字の切り替えをします。¹
- ⑤ 文字入力モードを切り替えます(ひらがな／英字／数字)。
- ⑥ 設定メニューを表示します。
- ⑦ 音声入力を起動します。
- ⑧ カーソルの前の文字を削除します。
- ⑨ 改行入力、または次の入力欄にカーソルを移動します。未確定の文字がある場合は、文字を確定します。²
- ⑩ 読点を入力します。³
- ⑪ 絵文字／ステッカー／顔文字／記号のリストを表示します。文字入力中は？を入力します。⁴
- ⑫ スペース入力、または文字の変換を行います。キーボードを複数使用している場合は、ロングタッチで使用したいキーボードを選択できます。
- ⑬ カーソルを左／右に移動します。フリックした方向にカーソルを移動します。

- 1  を2回タップ／ロングタッチすると、「大文字固定入力」に切り替わります。 にタッチしたまま入力したいキーにドラッグすると、大文字入力ができます。


- 2  にタッチしたまま各アイコンにドラッグすると、次のような機能を利用できます。
 -  : 絵文字／ステッカー／顔文字／記号のリストを表示します。(キーボード複数使用時のみ)
 -  /  : 前／次の入力欄にカーソルを移動します。
 -  : 片手モードを設定します。
- 3  /  にタッチしたまま各アイコンにドラッグすると、次のような機能を利用できます。
 -  : 設定メニューを表示します。
 -  : 絵文字／ステッカー／顔文字／記号のリストを表示します。(キーボード複数使用時のみ)
 -  : 片手モードを設定します。
- 4 キーボードを複数使用している場合は、 が表示されます。タップすると、設定した順にキーボードが切り替わります。ロングタッチすると使用したいキーボードを選択できます。

文字種(文字入力モード)を切り替える

1

文字入力画面で  あ1



 文字入力モードが切り替わります。

ひらがなを入力する(12キー)

「けいたい」と入力する方法を例に説明します。

1


文字入力モードがひらがな入力モードになっていることを確認



2

か (4回) → あ (2回) → た (1回) → あ (2回) → ←




 文字が入力されます。

フリック入力について


12キーで入力するとき、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返しタップすることなく、入力したい文字を入力できます。キーに触れると、フリック入力で行える候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字が入力されます。

「か」行を入力する方法を例に説明します。

1

 を上下左右にフリック



 フリックした方向の文字が入力されます。

文字を切り取り／コピーして貼り付ける

12キーを使用しているときを例に説明します。

1


入力済みの文字をロングタッチ



2

● / ● をドラッグして文字列を選択



 選択した文字列がハイライト表示されます。

- 全選択する場合は、**すべて選択**をタップします。

3

切り取り / **コピー**



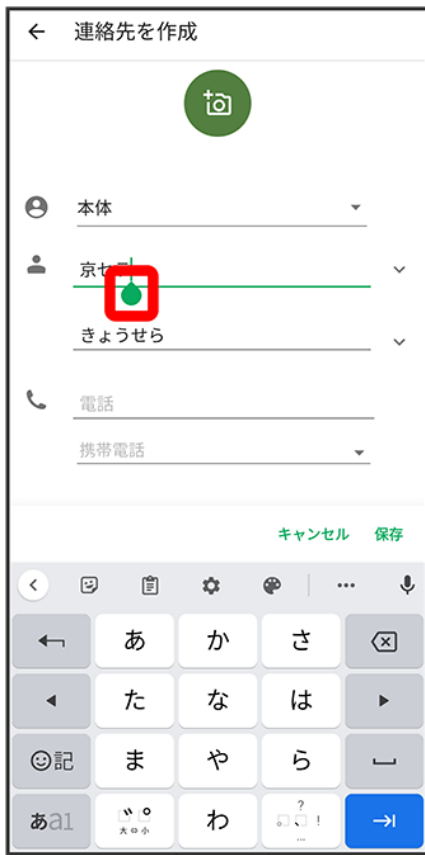
4

貼り付ける位置をタップ



5






6

貼り付け



 切り取り／コピーした文字列が貼り付けられます。

文字入力の設定を行う

文字入力に関する設定が行えます。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
言語	キーボードの言語やレイアウトを設定できます。
設定	<ul style="list-style-type: none"> ・数字行 QWERTY／QWERTZ／AZERTYレイアウトなどのキーボードを使用時に、常に数字行を表示するように設定できます。 ・絵文字切り替えキーを表示 絵文字切り替えキーをキーボードに表示するかどうかを設定できます。 ・記号キーボードに絵文字を表示 記号キーボードの候補領域に最近使用した絵文字を表示するかどうかを設定できます。 ・片手モード キーボードを左右どちらかに寄せることができます。 ・キーボードの高さ キーボードの高さを設定できます。

- ・絵文字ステッカー
絵文字キーボードで絵文字を選択したときに、ステッカーを提示するかどうかを設定できます。
- ・絵文字候補の高速アクセス行
人気の絵文字用の高速アクセス行を入力キーボードに表示するかどうかを設定できます。
- ・キー操作音
キーをタップしたとき、音を鳴らすかどうかを設定できます。
- ・キー操作の音量
キー操作音の音量を設定できます。
- ・キー操作時の触覚フィードバック
キーをタップしたとき、振動させるかどうかを設定できます。
- ・キー操作バイブレーションの強さ
キーをタップしたときの、バイブレーションの強さ(振動時間)を設定できます。
- ・キー押下時にポップアップ
キーをロングタッチしたとき、キー入力ガイドを表示するかどうかを設定できます。
- ・長押しで記号表示
QWERTY/QWERTZ/AZERTYレイアウトなどのキーボードでキーをロングタッチしたときに、記号を表示するかどうかを設定できます。
- ・キーの長押し時間
キーがロングタッチされたと判定されるまでの時間を設定できます。

テーマ

キーボードのデザインを変更できます。

テキストの修正

- ・候補領域の表示
入力中に候補領域を表示するかどうかを設定できます。
- ・次の入力候補
前の単語に基づいて入力候補を表示するかどうかを設定できます。
- ・不適切な語句をブロック
不適切な可能性がある語句を候補にしないように設定できます。
- ・絵文字の候補を表示
絵文字の候補を表示するかどうかを設定できます。
- ・連絡先の候補
連絡先の情報を利用して候補を表示するかどうかを設定できます。
- ・自動修正
入力中に語句を修正するかどうかを設定できます。
- ・Backspace で自動修正を元に戻す
自動修正後にBackspaceキーを押すと元のテキストを復元できるようにするかどうかを設定できます。
- ・句読点の後ろにスペースを自動入力
英語(米国)を使用している場合、句読点の後ろにスペースを自動的に入力するかどうかを設定できます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・自動大文字変換 英字入力で各文の最初の単語を大文字にするかどうかを設定できます。 ・ダブルスペース ピリオド スペースバーを2回タップすることで、ピリオドとスペースを挿入するかどうかを設定できます。 ・スペルチェック 入力中にスペルミスが含まれる単語にマークを付けるかどうかを設定できます。
グライド入力	<ul style="list-style-type: none"> ・グライド入力を有効化 文字間をドラッグして単語を入力するかどうかを設定できます。 ・ジェスチャーの軌跡を表示 ドラッグした際に軌跡を表示するかどうかを設定できます。 ・削除のジェスチャーを有効化 削除キーから左にドラッグして単語を削除するかどうかを設定できます。 ・カーソル操作のジェスチャーを有効化 スペースバーをドラッグしてカーソルを移動するかどうかを設定できます。
音声入力	<ul style="list-style-type: none"> ・音声入力を使用 音声入力を使用するかどうかを設定できます。 ・音声入力内容の送信 Gboardでの音声入力のスニペットが、音声認識技術の向上を目的にGoogleに送信するかどうかを設定できます。
クリップボード	<ul style="list-style-type: none"> ・最近コピーしたテキストや画像を候補バーに表示 クリップボードにコピーしたテキストなどをキーボードに表示するかどうかを設定できます。 ・最近のスクリーンショットをクリップボードに保存 最近撮影したスクリーンショットをキーボードに表示するかどうかを設定できます。
単語リスト	<ul style="list-style-type: none"> ・単語リスト 単語リストに単語を追加したり、保存した単語を削除したりできます。
検索	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツの予測検索 対応する言語で入力中に、ウェブやコンテンツの検索候補を提示させるかどうかを設定できます。
Gboard を共有	<ul style="list-style-type: none"> Gboardを共有するかどうかを設定できます。
詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> ・使用統計情報の共有 キーボードの使用統計情報をGoogleに自動で送信するかどうかを設定できます。 ・物理キーボードで絵文字を表示 外付けキーボードのAltキーを押したときに、絵文字キーボードを表示するかどうかを設定できます。 ・アプリアイコンを表示 アプリ一覧画面にGboardのアイコンを表示するかどうかを設定できます。 ・学習機能

タイプ入力や音声入力の使用パターンに合わせてGboardを変更するかどうかを設定できます。

・音声入力の品質改善に協力する

Gboardの音声入力の品質改善に協力するかどうかを設定できます。

・学習した単語やデータの削除

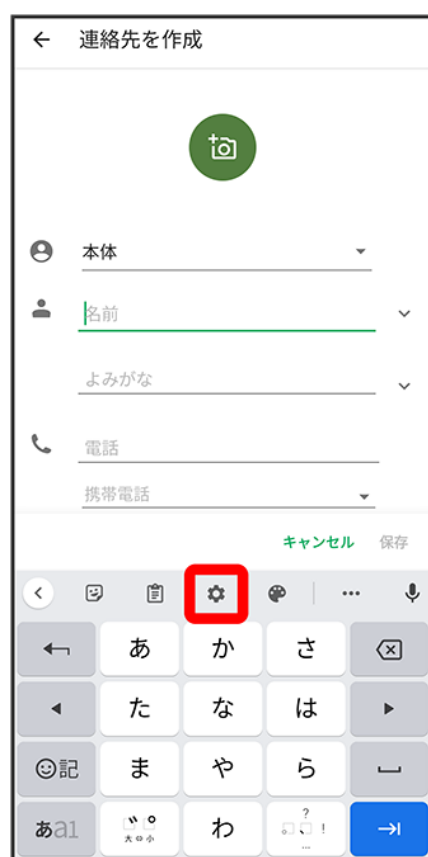
学習した単語やデータをデバイスから消去できます。

評価のお願い

Gboardの評価をすることができます。


1

文字入力画面で 



2

各項目をタップして設定

 文字入力の設定が完了します。

ソフトウェアの更新について

ネットワークを利用してソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。確認／更新には、通信料はかかりません。

↓ ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新を行う前に

本機の状態(故障・破損・水漏れなど)によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ソフトウェア更新時のご注意

ソフトウェア更新中について

更新が完了するまで、本機は使用できません。ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。

ソフトウェア更新中は絶対にUSIMカードを取り外したり、電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお問い合わせ先までご連絡ください。

ソフトウェア更新中の電波について

電波状況のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中に電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなると、更新に失敗することがあります。更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります。

ソフトウェアを更新する

1

ホーム画面で  (設定)  システム




2

システム アップデート



3

以降は、画面の指示に従って操作

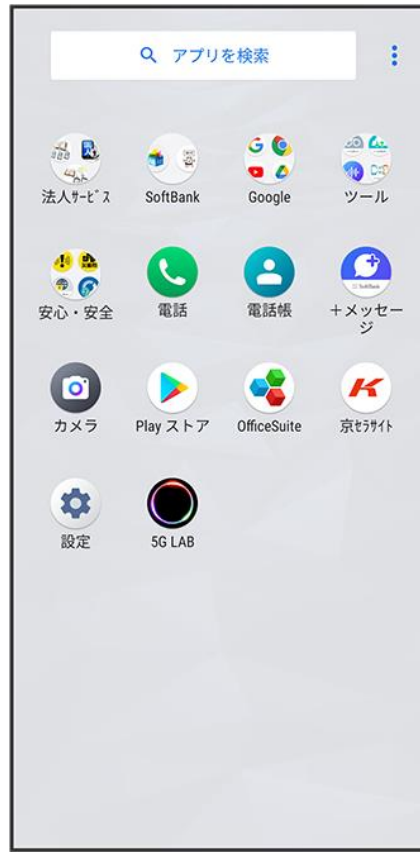
 ソフトウェア更新が実行されます。

画面について

- ↓ ホーム画面とアプリ一覧画面
- ↓ ホーム画面の見かた
- ↓ ホーム画面シートを切り替える
- ↓ ナビゲーションバー
- ↓ 縦画面と横画面
- ↓ マルチウインドウ
- ↓ スクリーンショットを撮る
- ↓ 壁紙を変更する
- ↓ ショートカットを追加する
- ↓ ウィジェットを追加する
- ↓ フォルダを追加する

ホーム画面とアプリ一覧画面

本機のおもな操作は、電源を入れると表示される「ホーム画面」と、アプリを一覧表示した「アプリ一覧画面」から行います。



ホーム画面の見かた



名称	説明
1 ステータスバー	下にフリックすると、通知パネルを表示します。2本指で下にフリックすると、クイック設定パネルを表示します。
2 待受エリア	アプリのショートカットやフォルダ、ウィジェットを自由に配置できます。
3 クイック起動エリア	アイコンをタップすると、アプリや機能を起動できます。お好みのアプリのショートカットを設定できます。フォルダを設定することもできます。
4 ナビゲーションバー	アイコンをタップして操作します。

ホーム画面シートを切り替える

ホーム画面を左右にフリックすると、ホーム画面シートを切り替えることができます。

- ほかのホーム画面シートを表示しているときに  をタップすると、最初のホーム画面に戻ります。